

(様式第10)

弘大病経第241号

令和5年10月4日

厚生労働大臣

殿

開設者名

国立大学法人弘前大学

学長

福田 眞作

弘前大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
氏名	国立大学法人弘前大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

弘前大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒036-8563 青森県弘前市本町53番地
電話( 0172 ) 33 - 5111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科		有	
内科と組み合わせた診療科名等			
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科
<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科
<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科
<input type="radio"/>	11リウマチ科		

診療実績

5神経内科:脳神経内科にて診療を提供 8代謝内科:糖尿病・代謝内科にて診療を提供 10アレルギー疾患内科またはアレルギー科:小児科、皮膚科及び耳鼻いんこう科・頭頸部外科にて診療を提供 11リウマチ科:整形外科及び内科にて診療を提供
--

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

## (2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
7内分泌外科:乳腺外科及び外科にて診療を提供							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

## (3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科		12放射線科
○	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

## (4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

## (5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	腫瘍内科	2	糖尿病・代謝内科	3	形成外科	4	病理診断科	5	リハビリテーション科
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

## 5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	(単位: 床)
35	4	0	0	597	636	

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	393	14	397.4
歯科医師	10	0	10.0
薬剤師	32	0	32.0
保健師	0	0	0
助産師	23	0	23.0
看護師	613	28	633.2
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	0	3	2.3
管理栄養士	10	0	10.0

職種	員数
看護補助者	91
理学療法士	18
作業療法士	7
視能訓練士	3
義肢装具士	0
臨床工学士	21
栄養士	2
歯科技工士	1
診療放射線技師	42

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	47
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	6	
その他の技術員	16	
事務職員	162	
その他の職員	14	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	48	眼科専門医	7
外科専門医	33	耳鼻咽喉科専門医	8
精神科専門医	3	放射線科専門医	6
小児科専門医	15	脳神経外科専門医	8
皮膚科専門医	6	整形外科専門医	20
泌尿器科専門医	8	麻酔科専門医	10
産婦人科専門医	14	救急科専門医	3
		合計	189

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 袴田 健一 ) 任命年月日 令和 5 年 4 月 1 日

2020.4.1 ~ 2023.3.31	医療安全管理委員会委員長(医療安全管理責任者)
2023.4.1 ~ 現在	医療安全管理委員会委員(病院長)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	426.9 人	10 人	436.9 人
1日当たり平均外来患者数	1,582.9 人	48.3 人	1,631.2 人
1日当たり平均調剤数			2021.7 剤
必要医師数			133 人
必要歯科医師数			3 人
必要薬剤師数			26 人
必要(准)看護師数			274 人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	有
集中治療室	793 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	26 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	67.8	m <sup>2</sup>	病床数	5 床
	[移動式の場合]	台数		台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	175		m <sup>2</sup>	
	[共用室の場合]	共用する室名	薬剤部薬物療法支援室			
化学検査室	300 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	免疫発光測定装置・電気化学発光測定装置 等		
細菌検査室	117 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	安全キャビネット・高圧蒸気滅菌装置・テーブルトップ遠心機 等		
病理検査室	148 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動染色装置・検体前処理装置 等		
病理解剖室	66 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	ホルマリン希釈混合装置・電動解剖鋸 等		
研究室	10,356 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	遺伝子発現・薬剤分析システム・パーソナル次世代シーケンサー 等		
講義室	274 m <sup>2</sup>	鉄骨	室数	1 室	収容定員	205 人
図書室	1,341 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	3 室	蔵書数	158,000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	106.5 %	逆紹介率	83.5 %
算出根拠	A:紹介患者の数	10,997 人	
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,657 人	
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数	1,325 人	
	D:初診の患者の数	11,567 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
藤野 安弘	青森県立中央病院 病院長	○	医療に係る安全管理に関する 識見を有する者	無	1
相馬 悌	黒石市国民健康保険黒石病院 病院事業管理者		医療に係る安全管理に関する 識見を有する者	無	1
長谷河 亜希子	弘前大学人文社会科学部 公共政策講座 准教授		法律に関する識見を有する者	無	1
野崎 嵩	イマジン株式会社 代表取締役		医療を受ける者	無	2
横山 良仁	弘前大学大学院医学研究科 産婦人科学講座 教授 (副病院長)		医療に係る安全管理に関する 識見を有する者	有	1
櫻庭 裕丈	弘前大学大学院医学研究科 消化器内科学講座 教授 (病院長補佐)		医療に係る安全管理に関する 識見を有する者	有	1

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
附属病院ホームページに掲載	





(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
取扱い患者数の合計(人)	0



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	61	自己免疫性溶血性貧血	1
2	筋萎縮性側索硬化症	7	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
3	脊髄性筋萎縮症	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	24
4	原発性側索硬化症	2	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
5	進行性核上性麻痺	6	65	原発性免疫不全症候群	3
6	パーキンソン病	101	66	IgA腎症	24
7	大脳皮質基底核変性症	4	67	多発性嚢胞腎	26
8	ハンチントン病	0	68	黄色靱帯骨化症	10
9	神経有棘赤血球症	0	69	後縦靱帯骨化症	83
10	シャルコー・マリー・トウス病	1	70	広範脊柱管狭窄症	1
11	重症筋無力症	51	71	特発性大腿骨頭壊死症	44
12	先天性筋無力症候群	0	72	下垂体性ADH分泌異常症	11
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	49	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	6	74	下垂体性PRL分泌亢進症	5
15	封入体筋炎	3	75	クッシング病	6
16	クドウ・深瀬症候群	0	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
17	多系統萎縮症	9	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	19
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	44	78	下垂体前葉機能低下症	86
19	ライゾーム病	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
20	副腎白質ジストロフィー	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
21	ミトコンドリア病	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	5
22	もやもや病	17	82	先天性副腎低形成症	0
23	プリオン病	2	83	アジソン病	0
24	亜急性硬化性全脳炎	0	84	サルコイドーシス	67
25	進行性多巣性白質脳症	0	85	特発性間質性肺炎	28
26	HTLV-1関連脊髄症	0	86	肺動脈性肺高血圧症	11
27	特発性基底核石灰化症	1	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
28	全身性アミロイドーシス	13	88	慢性血栓性肺高血圧症	10
29	ウルリッヒ病	0	89	リンパ脈管筋腫症	3
30	遠位型ミオパチー	2	90	網膜色素変性症	31
31	ベスレムミオパチー	0	91	バッド・キアリ症候群	3
32	自己食空胞性ミオパチー	0	92	特発性門脈圧亢進症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	17
34	神経線維腫症	15	94	原発性硬化性胆管炎	2
35	天疱瘡	13	95	自己免疫性肝炎	6
36	表皮水疱症	3	96	クローン病	124
37	膿疱性乾癬(汎発型)	9	97	潰瘍性大腸炎	239
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	98	好酸球性消化管疾患	0
39	中毒性表皮壊死症	0	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
40	高安静脈炎	14	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
41	巨細胞性動脈炎	2	101	腸管神経節細胞減少症	0
42	結節性多発動脈炎	4	102	ルビンシュタイン・ティピ症候群	0
43	顕微鏡的多発血管炎	18	103	CFC症候群	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	1	104	コステロ症候群	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	15	105	チャージ症候群	0
46	悪性関節リウマチ	9	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
47	パージャー病	1	107	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	7
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	221	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	59	110	ブラウ症候群	0
51	全身性強皮症	56	111	先天性ミオパチー	0
52	混合性結合組織病	32	112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0
53	シェーグレン症候群	26	113	筋ジストロフィー	3
54	成人スチル病	19	114	非ジストロフィー性ミトニー症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	2	115	遺伝性周期性四肢麻痺	0
56	ベーチェット病	84	116	アトピー性脊髄炎	0
57	特発性拡張型心筋症	21	117	脊髄空洞症	3
58	肥大型心筋症	8	118	脊髄髄膜瘤	0
59	拘束型心筋症	0	119	アイザックス症候群	0
60	再生不良性貧血	10	120	遺伝性ジストニア	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
0	神経フェリチン症	181	クルーゾン症候群	0
1	脳表ヘモジデリン沈着症	182	アペール症候群	0
0	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	183	ファイファー症候群	0
2	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
0	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	185	コフィン・シリシス症候群	0
0	ペリー症候群	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
0	前頭側頭葉変性症	187	歌舞伎症候群	0
0	ピッカースタッフ脳幹脳炎	188	多脾症候群	0
0	痙攣重積型(二相性)急性脳症	189	無脾症候群	0
0	先天性無痛無汗症	190	鯉耳腎症候群	0
0	アレキサンダー病	191	ウェルナー症候群	0
0	先天性核上性球麻痺	192	コケイン症候群	0
0	メビウス症候群	193	ブラダー・ウィリ症候群	1
0	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	194	ソトス症候群	0
0	アイカルディ症候群	195	ヌーナン症候群	0
0	片側巨脳症	196	ヤング・シンブソン症候群	0
0	限局性皮質異形成	197	1p36欠失症候群	0
0	神経細胞移動異常症	198	4p欠失症候群	0
0	先天性大脳白質形成不全症	199	5p欠失症候群	0
0	ドラベ症候群	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
0	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	201	アンジェルマン症候群	0
0	ミオクロニー欠伸てんかん	202	スミス・マギニス症候群	0
0	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	203	22q11.2欠失症候群	0
0	レノックス・ガストー症候群	204	エマヌエル症候群	0
0	ウエスト症候群	205	脆弱X症候群関連疾患	0
0	大田原症候群	206	脆弱X症候群	0
0	早期ミオクロニー脳症	207	総動脈幹遺残症	0
0	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	208	修正大血管転位症	1
0	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	209	完全大血管転位症	3
0	環状20番染色体症候群	210	単心室症	4
0	ラスムッセン脳炎	211	左心低形成症候群	1
0	PCDH19関連症候群	212	三尖弁閉鎖症	2
0	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
0	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
0	ランドウ・クレフナー症候群	215	ファロー四徴症	5
0	レット症候群	216	両大血管右室起始症	2
0	スタージ・ウェバー症候群	217	エプスタイン病	0
2	結節性硬化症	218	アルポート症候群	0
1	色素性乾皮症	219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
0	先天性魚鱗癬	220	急速進行性糸球体腎炎	0
0	家族性良性慢性天疱瘡	221	抗糸球体基底膜腎炎	1
7	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	222	一次性ネフローゼ症候群	39
2	特発性後天性全身性無汗症	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2
0	眼皮膚白皮症	224	紫斑病性腎炎	2
1	肥厚性皮膚骨膜炎	225	先天性腎性尿崩症	0
0	弾性線維性仮性黄色腫	226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0
2	マルファン症候群	227	オスラー病	8
1	エーラス・ダンロス症候群	228	閉塞性細気管支炎	0
0	メンケス病	229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2
0	オキシピタル・ホーン症候群	230	肺胞低換気症候群	0
6	ウイルソン病	231	α1-アンチトリプシン欠乏症	1
0	低ホスファターゼ症	232	カーニー複合	0
0	VATER症候群	233	ウォルフラム症候群	0
0	那須・ハコラ病	234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0
0	ウィーバー症候群	235	副甲状腺機能低下症	1
0	コフィン・ローリー症候群	236	偽性副甲状腺機能低下症	0
0	ジュベール症候群関連疾患 旧病名(有馬症候群)	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
0	モワット・ウィルソン症候群	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3
0	ウイリアムズ症候群	239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
0	ATR-X症候群	240	フェニルケトン尿症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
241	高チロシン血症1型	0	301	黄斑ジストロフィー	1
242	高チロシン血症2型	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
243	高チロシン血症3型	0	303	アッシュャー症候群	0
244	メーブルシロップ尿症	0	304	若年発症型両側性感音難聴	1
245	プロピオン酸血症	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
246	メチルマロン酸血症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	89
247	イソ吉草酸血症	0	307	カナバン病	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	308	進行性白質脳症	0
249	グルタル酸血症1型	0	309	進行性ミオクローヌスてんかん	0
250	グルタル酸血症2型	0	310	先天異常症候群	0
251	尿素サイクル異常症	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
254	ポルフィリン症	1	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連症	0
256	筋型糖原病	0	316	カルニチン回路異常症	0
257	肝型糖原病	0	317	三頭酵素欠損症	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	318	シトリン欠損症	0
259	レンチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
260	シトステロール血症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
261	タンジール病	0	321	非ケトosis型高グリシン血症	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0
263	脳髄黄色腫症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
264	無βリポタンパク血症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
265	脂肪萎縮症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
266	家族性地中海熱	6	326	大理石骨病	0
267	高IgD症候群	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
268	中條・西村症候群	0	328	前眼部形成異常	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	329	無虹彩症	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	0
271	強直性脊椎炎	6	331	特発性多中心性キャッスルマン病	4
272	進行性骨化性線維異形成症	1	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
274	骨形成不全症	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	335	ネフロン病	0
276	軟骨無形成症	0	336	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0	337	ホモシスチン尿症	2
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	1	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0	339		
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0	340		
281	クリッペルト・レノネー・ウェーバー症候群	0	341		
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0	342		
283	後天性赤芽球癆	4	343		
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1	344		
285	ファンconi貧血	0	345		
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0	346		
287	エプスタイン症候群	0	347		
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1	348		
289	クロンカイト・カナダ症候群	0	349		
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1	350		
291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸型)	0	351		
292	総排泄腔外反症	1	352		
293	総排泄腔遺残	1	353		
294	先天性横隔膜ヘルニア	0	354		
295	乳幼児肝巨大血管腫	0	355		
296	胆道閉鎖症	6	356		
297	アラジール症候群	0	357		
298	遺伝性睦炎	0	358		
299	嚢胞性線維症	0	359		
300	IgG4関連疾患	5	360		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

合計患者数(人)	2,111
----------	-------

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・データ提出加算2
・歯科外来診療環境体制加算2	・入退院支援加算2
・歯科診療特別対応連携加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料	・精神疾患診療体制加算
・救急医療管理加算	・地域医療体制確保加算
・超急性期脳卒中加算	・救命救急入院料4
・診療録管理体制加算1	・特定集中治療室管理料1
・医師事務作業補助体制加算2	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・急性期看護補助体制加算	・新生児特定集中治療室管理料2
・看護職員夜間配置加算1	・小児入院医療管理料2
・看護補助加算2	・看護職員処遇改善評価料63
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・放射線治療病室管理加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩等管理加算	・
・後発医薬品使用体制加算2	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料(注3)	・医療機器安全管理料1
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・医療機器安全管理料2
・糖尿病合併症管理料	・精神科退院時共同指導料2
・がん性疼痛緩和指導管理料	・歯科治療時医療管理料
・がん患者指導管理料イ	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん患者指導管理料ロ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・がん患者指導管理料ハ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・がん患者指導管理料ニ	・遺伝学的検査
・外来緩和ケア管理料	・染色体検査の注2に規定する施設基準
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・骨髓微小残存病変量測定
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・BRCA1/2遺伝子検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・小児運動器疾患指導管理料	・先天性代謝異常症検査
・婦人科特定疾患治療管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・腎代替療法指導管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・一般不妊治療管理料	・検体検査管理加算(IV)
・生殖補助医療管理料1	・国際標準検査管理加算
・二次性骨折予防継続管理料1・3	・遺伝カウンセリング加算
・下肢創傷処置管理料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・院内トリアージ実施料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・外来放射線照射診療料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・外来腫瘍化学療法診療料1・連携充実加算	・胎児心エコー法
・がん治療連携計画策定料	・ヘッドアップティルト試験
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・人工臓器検査
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・皮下連続式グルコース測定
・肝炎インターフェロン治療計画料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・薬剤管理指導料	・神経学的検査

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・補聴器適合検査	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・黄斑局所網膜電図	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・全視野精密網膜電図	・がん患者リハビリテーション料
・ロービジョン検査判断料	・歯科口腔リハビリテーション料2
・小児食物アレルギー負荷検査	・児童思春期精神科専門管理加算(通院・在宅精神療法)
・内服・点滴誘発試験	・認知療法・認知行動療法1
・センチネルリンパ節生検(片側)	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・硬膜外自家血注入
・経気管支凍結生検法	・人工腎臓 慢性維持透析を行った場合1
・精密触覚機能検査	・導入期加算3及び腎代替療法実績加算
・画像診断管理加算1	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・画像診断管理加算3	・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法
・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
・CT撮影及びMRI撮影	・人工膵臓療法
・冠動脈CT撮影加算	・歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・手術用顕微鏡加算
・外傷全身CT加算	・口腔粘膜処置
・心臓MRI撮影加算	・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
・乳房MRI撮影加算	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2
・小児鎮静下MRI撮影加算	・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・頭部MRI撮影加算	・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・外来化学療法加算1	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・無菌製剤処理料	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・椎間板内酵素注入療法
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもの) (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・内視鏡下筋層切開術
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁に対して実施する場合)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・角結膜悪性腫瘍切除手術	・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術
・羊膜移植術	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	
・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))	
・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	経カテーテル弁置換術
・網膜再建術	・経皮的僧帽弁クリップ術
・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	・不整脈手術(左心耳閉鎖術)(胸腔鏡下によるもの)
・人工中耳植込術	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的の手術によるもの)に限る
・人工内耳植込術	・経皮的中隔心筋焼灼術
・植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び ・経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
・顎関節人工関節全置換術(歯科診療に係るものに限る。)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・補助人工心臓



(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・経皮的下肢動脈形成術	・膀胱水圧拡張術
・内視鏡的逆流防止粘膜切除術	・腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術
・バルーン閉塞下経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下肝切除術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術、陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・精巣内精子採取術
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下胃全摘術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・生体部分肝移植術	・腹腔鏡下膣式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・体外式膜型人工肺管理料
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る)
・内視鏡的小腸ポリープ切除術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・腹腔鏡下小切開副腎摘出術	・輸血管理料 I
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	・自己生体組織接着剤作成術
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・自己クリオプレシピレート作製術(用手法)
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・同種クリオプレシピレート作製術
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・同種死体腎移植術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・生体腎移植術	・歯周組織再生誘導手術
	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
	・歯根端切除手術の注3
	・口腔粘膜血管腫凝固術





## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
神経発達障害の脆弱性と予測因子に関する研究	中村和彦	医学研究科神経精神医学講座	3,900,000円	補 委	日本学術振興会
ダウン症候群に伴う急性巨核芽球性白血病発症の分子機構の解明と分子標的療法の開発	伊藤悦朗	医学研究科地域医療学講座	3,200,000円	補 委	日本学術振興会
深層学習法による高齢者術後うつ病の術前予測と発症機序・予防に関する基礎的研究	廣田和美	医学研究科麻酔科学講座	4,100,000円	補 委	日本学術振興会
腎機能低下時にABCB1遺伝子多型が直接第Xa因子阻害薬間の薬物動態へ与える影響	相内尚也	医学部附属病院薬剤部	470,000円	補 委	日本学術振興会
自閉スペクトラム症早期介入法の日本における実用可能なプロトタイプ作成及び効果	大星純子	医学研究科神経精神医学講座	800,000円	補 委	日本学術振興会
発達障害の併存・合併症問題の精神病理の解明と個別化した早期治療の探求	廣田智也	医学研究科神経精神医学講座	100,000円	補 委	日本学術振興会
Dバミン部分アゴニストによる低プロラクチン血症のリスク因子と臨床的意義	橋本浩二郎	医学部附属病院神経精神科	400,000円	補 委	日本学術振興会
うつ病病態発現神経回路の解明とケタミン抗うつ作用機序の検討	二階堂義和	医学研究科メタボロミクスイノベーション学講座	800,000円	補 委	日本学術振興会
ストレスコントロールを指向した術後管理法の探求～馬所麻酔薬の有用性～	北山真任	医学部附属病院手術部	400,000円	補 委	日本学術振興会
小児期の逆境的体験(家庭および学校)と引きこもりの関連	和久田学	医学研究科神経精神医学講座	1,000,000円	補 委	日本学術振興会
DNA傷害からみた癌幹細胞性維持機構の違い、glioblastomaをモデルに	黒瀬順	医学研究科病理診断学講座	900,000円	補 委	日本学術振興会
難治性うつに対するケタミンの抗うつ作用の評価と機序解明へのアプローチ	工藤隆司	医学部附属病院眼科	700,000円	補 委	日本学術振興会
拡散係数と糖代謝・腫瘍血流量を組み合わせた肺癌定位照射における予後予測法の確立	青木昌彦	医学研究科放射線腫瘍学講座	900,000円	補 委	日本学術振興会
タンデム重複変異RUNX1の白血病発症における機能解析	土岐力	医学研究科小児科学講座	1,100,000円	補 委	日本学術振興会
ダウン症関連白血病における転写制御破壊機序の解明	金崎聖香	医学研究科小児科学講座	1,100,000円	補 委	日本学術振興会
TGF-betaシグナルに着目した栄養障害型表皮水疱症の線維化メカニズム	赤坂英二郎	医学部附属病院皮膚科	800,000円	補 委	日本学術振興会
表皮細胞由来VII型コラーゲンの毛包構造維持に果たす役割の解明	松崎康司	医学部附属病院皮膚科	1,300,000円	補 委	日本学術振興会
水疱性類天疱瘡患者自己抗体の可変領域の統合的な解析	菅川智子	医学部附属病院検査部	1,100,000円	補 委	日本学術振興会
障害肝に対する大量肝切除を目指した有機アニオントランスポーターの発現解析	木村憲夫	医学研究科消化器外科学講座	800,000円	補 委	日本学術振興会
プレグナンX受容体を介する大動脈弁異所性石灰化機序の解明と病態生理学的意義の実証	大徳和之	医学研究科医療安全学講座	1,000,000円	補 委	日本学術振興会
自律神経機能調節に注目した新しい集中治療時の鎮静法の探求	外崎亮	医学部附属病院集中治療部	800,000円	補 委	日本学術振興会
血管内皮細胞を標的とした次世代癌特異的中性子補足療法の開発	畠山真吾	医学研究科先進血液浄化療法学講座	800,000円	補 委	日本学術振興会
ヒアルロン酸分解酵素による前立腺癌の腫瘍免疫逃避機構の解明	飛澤悠美	医学研究科泌尿器科学講座	700,000円	補 委	日本学術振興会
Carbonyl reductase 1を標的とした進行卵巣癌治療戦略の新展開	横山良仁	医学研究科産科婦人科学講座	1,400,000円	補 委	日本学術振興会
口腔癌の化学療法誘発口腔粘膜炎に伴う顎骨露出メカニズムの解明	久保田耕世	医学部附属病院歯科口腔外科	1,000,000円	補 委	日本学術振興会

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
超音波検査の基礎学習用シミュレーターの開発	小林只	医学部附属病院総合診療部	1,500,000円	補委 日本学術振興会
医学生に対する超音波検査の教育:膀胱シミュレータを用いた確実な初期教育方法の検証	米田博輝	医学研究科総合地域医療推進学講座	800,000円	補委 日本学術振興会
ポリフェノールのコレステロール搬出増強作用に着目した新規糖尿病発症予防分子の同定	松木慎太	医学部附属病院内分泌内科、糖尿病代謝内科	800,000円	補委 日本学術振興会
薬物応答性遺伝子多型に基づき新規腎性貧血治療薬の投与量個体差要因を説明できるか?	新岡文典	医学研究科薬理学講座	1,100,000円	補委 日本学術振興会
卵巣形成におけるゲノムインプリンティング異常と分化成熟度の関係性の解明	加藤哲子	医学部附属病院病理診断学講座	900,000円	補委 日本学術振興会
線条体神経細胞の異常可塑性が避妊性ジスキネジアの原因か?	高山誠彦	医学研究科脳神経内科学講座	1,100,000円	補委 日本学術振興会
好中球エラスターゼ阻害剤による放射線肺臓炎予防効果の解明	畑山佳臣	医学部附属病院放射線部	1,400,000円	補委 日本学術振興会
Diamond-Blackfan 貧血に合併する悪性腫瘍発症機構の解明	神尾卓哉	医学部附属病院小児科学講座	1,000,000円	補委 日本学術振興会
赤血球分化における転写因子IRX1の機能の解明	佐藤知彦	医学部附属病院小児科	1,000,000円	補委 日本学術振興会
ダウン症のTAMにおけるGATA1変異タイプと巨核球分化・白血球遊走との関連	照井君典	医学研究科小児科学講座	1,000,000円	補委 日本学術振興会
ランゲルハンス細胞組織球症(LCH)における骨髄病変の分子機構の解明	工藤耕	医学部附属病院小児科	600,000円	補委 日本学術振興会
新規水溶性類天癌腫モデルマウスを用いた抗BP230自己抗体の解析	澤村大輔	医学研究科皮膚科学講座	1,100,000円	補委 日本学術振興会
遺伝性ポルフィリン症におけるヘム合成に関する新規代謝経路の解明	中野創	医学研究科皮膚科学講座	1,500,000円	補委 日本学術振興会
レチノイン酸によるマクロファージ・ハイロースシ抑制機構	平賀寛人	医学部附属病院消化器血液内科学講座	800,000円	補委 日本学術振興会
プロオピオメランコルチン遺伝子の転写抑制メカニズムの解明	高安忍	医学研究科内分泌代謝内科学講座	1,000,000円	補委 日本学術振興会
新規ゲノム機能解析法による微小腫瘍検出法の開発	特田健一	医学研究科消化器外科学講座	1,500,000円	補委 日本学術振興会
血管内皮増殖因子受容体VEGFR2の大動脈非異所性石灰化における役割と機序の解明	于在強	医学研究科胸部心臓血管外科学講座	1,100,000円	補委 日本学術振興会
糖鎖解析による転移性尿路上皮癌に対する免疫OP阻害剤の新たなコンパニオン診断開発	橋本安弘	医学研究科泌尿器科学講座	1,300,000円	補委 日本学術振興会
マイクロバイオーム解析による上気道難治性アレルギー性・好酸球性炎症の病態解明	松原篤	医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	800,000円	補委 日本学術振興会
生活習慣病の予防法確立を目指した経年的口腔内細菌叢変化と生活習慣病の関係解明	小林恒	医学研究科歯科口腔外科学講座	800,000円	補委 日本学術振興会
ビッグデータを用いた口腔内・腸内細菌叢における胃酸分泌能の新たな役割の解明	珍田大輔	医学部附属病院光学医療診療部	700,000円	補委 日本学術振興会
大規模調査による非アルコール性脂肪性肝疾患の病態とPAI-1との関連の解明	三上健一郎	医学研究科消化器血液内科学講座	1,000,000円	補委 日本学術振興会
生活習慣因子との相互関係を考慮した既知生活習慣病感受性遺伝子の臨床応用	大門真	医学研究科内分泌代謝内科学講座	1,300,000円	補委 日本学術振興会
分子標的ホウ素中性子捕捉療法の開発	大山力	医学研究科先進移植再生医学講座	4,100,000円	補委 日本学術振興会
バーチャルリアリティを用いたプレハビリテーションプログラムによる術後痛み予防	廣田和美	医学研究科麻酔科学講座	1,200,000円	補委 日本学術振興会

小計25件

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
異なる低侵襲化のための乳癌センチネルリンパ節転移CT判定法とリンパ解離の解明	藤田環	医学部附属病院放射線診断学講座	900,000円	補 委 日本学術振興会
腸内環境からNAFLD、NASH進展への解明:メタゲノム解析とメタボローム解析	飯野勢	医学部附属病院消化器内科、血液内科、膠原病内科	1,200,000円	補 委 日本学術振興会
生物学的製剤は脊柱初期帯骨化症の治療薬となり得るか?	浅利草	医学部附属病院整形外科講座	1,100,000円	補 委 日本学術振興会
有限要素法を用いた大腿骨頭壊死症の骨髄圧予測スコアリングシステムの開発	原田義史	医学研究科整形外科講座	600,000円	補 委 日本学術振興会
寛形性膝関節症に対するヒアルロン酸と多血小板血漿を併用した関節内注射治療	飯尾浩平	医学研究科整形外科講座	400,000円	補 委 日本学術振興会
Liquid biopsy法による新規膵臓マーカーの開発	藤田尚紀	医学研究科むつ下北地域医療学講座	1,000,000円	補 委 日本学術振興会
レポドバ誘発ジスキネジアの発症機序の解明と新規薬物治療の開発	西真寿生	医学部附属病院脳神経内科	1,100,000円	補 委 日本学術振興会
前立腺癌におけるメタボロミクスを利用した放射線治療計画	小原秀樹	医学部附属病院医療技術部(放射線部門)	700,000円	補 委 日本学術振興会
AGEs-RAGE シグナルを介した、膝関節による膝関節細胞への影響	原裕太郎	医学部附属病院消化器外科、乳癌外科、甲状腺外科	200,000円	補 委 日本学術振興会
4-methylumbelliferoneと抗癌剤の併用による新規癌治療	吉田枝里	医学研究科消化器外科、乳癌外科、甲状腺外科	100,000円	補 委 日本学術振興会
ブドウ糖初期分布容量を指標とする体液評価法の確立と重症敗血症への応用	菅沼拓也	医学研究科麻酔科学講座	100,000円	補 委 日本学術振興会
PSMA標的ペプチド-MRI造影剤による前立腺癌特異的MRI画像診断法の開発	小島由太	医学部附属病院泌尿器科学講座	1,100,000円	補 委 日本学術振興会
網羅的糖鎖解析による腎癌バイオマーカーの開発	小玉寛健	医学部附属病院泌尿器科学講座	1,300,000円	補 委 日本学術振興会
PSMA標的ペプチド-MRI造影剤による前立腺癌特異的中性子捕捉法の開発	久保田優花	医学研究科泌尿器科学講座	1,100,000円	補 委 日本学術振興会
去勢抵抗性前立腺癌の治療効果を予測する糖鎖関連cDNAマーカーの開発	濱野逸人	医学研究科泌尿器科学講座	1,300,000円	補 委 日本学術振興会
エクオールと生活習慣病との関連	大石真香	医学研究科女性の健康推進医学講座	300,000円	補 委 日本学術振興会
IGFBP4による骨微小環境調節機構の解明と新規骨吸収性疾患治療への応用	伊藤良平	医学部附属病院歯科口腔外科	600,000円	補 委 日本学術振興会
電子レセプト情報から傷病名を明らかにする確率計算式の開発	田中里奈	医学研究科医学医療情報学講座	450,000円	補 委 日本学術振興会
腸内細菌叢のマルチオミクス解析による自閉スペクトラム症の病態解明	対馬大希	医学研究科神経精神医学講座	1,300,000円	補 委 日本学術振興会
アレルギー性気道炎症に対するG蛋白共役型エストロゲン受容体を介した抑制作用の機序	永賀正道	医学研究科臨床検査医学講座	1,400,000円	補 委 日本学術振興会
腹壁末梢神経ブロックは腹腔鏡手術の術後状態を改善しうるか?	野口智子	医学研究科麻酔科学講座	1,100,000円	補 委 日本学術振興会
脳波解析による術後離去予測アルゴリズムの確立	木下裕貴	医学部附属病院集中治療部	1,200,000円	補 委 日本学術振興会
糖代謝イメージングを応用した治療抵抗性肉腫早期診断法の開発	小川哲也	医学研究科整形外科講座	1,500,000円	補 委 日本学術振興会
膀胱癌浸潤転移に関わる新規ヒアルロニダーゼTMEM2の機能解明	米山美穂子	医学研究科泌尿器科学講座	1,300,000円	補 委 日本学術振興会
イムノグロブリン糖鎖変異による原路上皮癌診断マーカーの開発	田中壽和	医学研究科泌尿器科学講座	1,200,000円	補 委 日本学術振興会

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
PD1/PDL1の糖鎖分子を用いた免疫療法効果予測バイオマーカーの開発	堀口裕貴	医学研究科泌尿器科学講座	1,300,000円	補委 日本学術振興会
アレルギー性鼻炎の新規感作抑制や発症予防に関する腸内・口腔細菌叢の探究	野村彩美	医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,100,000円	補委 日本学術振興会
網膜色素上皮細胞の免疫応答細胞障害診断法の開発	原藤子	医学研究科地域医療学講座	1,200,000円	補委 日本学術振興会
ロドプシン遺伝子変異網膜色素上皮細胞モデルに対するカルバイン阻害ペプチド徐放の効果	前田奈津姫	医学部附属病院眼科	1,000,000円	補委 日本学術振興会
エクオールが女性アスリートの3主要な有する長距離走選手の骨代謝に与える影響の検討	藤田有紀	医学部附属病院整形外科	800,000円	補委 日本学術振興会
膝ACL再建術後に再断裂予防リハビリを実施した者の片脚着地動作の経時的な変化の解明	大見根一	医学研究科リハビリテーション医学講座	600,000円	補委 日本学術振興会
炎症性腸疾患の難治化における抗炎症感受遺伝子Schlafen11の臨床的意義	村井康久	医学研究科消化器血液内科学講座	1,200,000円	補委 日本学術振興会
オンライン服薬指導に対応できる人材育成のための教育ツールの開発	工藤正純	医学部附属病院臨床試験管理センター	700,000円	補委 日本学術振興会
パーキンソン病の早期診断における脳定量MRIミエリンマップに関する研究	藤田大真	医学部附属病院放射線診断科	1,500,000円	補委 日本学術振興会
脂酸リパーゼカプセル併用と脂肪酸吸収促進効果による炎症性腸疾患新規治療	榎庭裕文	医学研究科消化器血液内科学講座	1,000,000円	補委 日本学術振興会
腸性糖尿症に対する消化酵素補充療法の適正化に呼気中水素濃度測定は有用であるか	梅町幸	医学研究科むつ下北地域医療学講座	1,600,000円	補委 日本学術振興会
肺高血圧症における新たな機序の解明: エンドセリン受容体におけるβアラステンの役割	花田賢二	医学部附属病院循環器内科、腎臓内科	1,200,000円	補委 日本学術振興会
冠縮性狭心症の成因における血管平滑筋収縮の情報伝達系の役割の解明	渋谷修司	医学研究科心臓病態先進治療学講座	1,200,000円	補委 日本学術振興会
カルシウム感受性亢進に着目した冠縮性狭心症の新規病態の解明と治療法の確立	富田泰史	医学研究科循環器腎臓内科学講座	600,000円	補委 日本学術振興会
気管支拡張症の基礎疾患と形態学的特徴および下気道細菌叢との関連	田坂定智	医学研究科呼吸器内科学講座	1,400,000円	補委 日本学術振興会
組織透明化法による遠位胆管癌の神経周囲浸潤機構の解明	小笠原宏一	医学研究科消化器外科学講座	900,000円	補委 日本学術振興会
壁外進展様式に着目した術前治療抵抗性直腸癌の病的機構解明	久保田隼介	医学研究科消化器外科学講座	1,000,000円	補委 日本学術振興会
肉腫細胞をターゲットとした蛍光レグルコースによる新規診断・治療法の開発	大庭周佐	医学部附属病院リハビリテーション科	800,000円	補委 日本学術振興会
CD14陽性樹状細胞による関節リウマチ病態形成の形態学的解明	黒瀬理恵	医学研究科整形外科講座	1,300,000円	補委 日本学術振興会
関節内組織再生誘導メカニズムの解明と変形性膝関節症の新規組織修復法の開発	石橋恭之	医学研究科整形外科講座	1,200,000円	補委 日本学術振興会
慢性期脊髄損傷に対する脂肪・骨髄由来Mesenchymal Stem Cellによる神経再生治療法の確立	熊谷玄太郎	医学部附属病院整形外科	1,400,000円	補委 日本学術振興会
一般地域住民に対する大規模疫学調査による加齢性難聴の遺伝的病因の解明	佐々木亮	医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,300,000円	補委 日本学術振興会
トレハロースによる緑内障チューブシャント手術後の結膜癒着抑制	工藤孝志	医学部附属病院眼科	1,300,000円	補委 日本学術振興会
人工知能による予後予測精度の高い早期変形性膝関節症診断基準作成にむけた疫学研究	佐々木英嗣	医学研究科むつ下北地域医療学講座	1,300,000円	補委 日本学術振興会
脳内ネットワークに着目した脊髄損傷慢性期ロボットリハビリテーションの効果発現機序	津田英一	医学研究科リハビリテーション医学講座	1,100,000円	補委 日本学術振興会

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
特発性骨柱剝離症に対する保護者評価を活用した新たなスクリーニングツールの開発	和田簡一郎	医学部附属病院整形外科	1,200,000円	補委 日本学術振興会
大豆イソフラボン代謝物エクオールによる2型糖尿病の新たな病態解明と治療法の開発	村上宏	医学研究科内分泌代謝内科学講座	1,300,000円	補委 日本学術振興会
適合学習による生体分子ネットワーク推定法の研究	玉田薫紀	医学研究科画像データ解析学講座	1,700,000円	補委 日本学術振興会
がん患者への臨床薬理学的アプローチによる経口第Xa因子阻害薬新規個別化療法の開発	中川潤一	医学部附属病院薬剤部	1,300,000円	補委 日本学術振興会
COVID-19が子どものメンタルヘルス及び言語・社会性の発達に与える影響	坂本由唯	医学部附属病院神経精神科	900,000円	補委 日本学術振興会
MAC感染症におけるエクソソームの役割についての研究	牧口友紀	医学部附属病院呼吸器内科、感染症科	2,100,000円	補委 日本学術振興会
多発性骨髄腫での治療効果予測バイオマーカー探索:血清ctDNAの経時的解析	立田卓登	医学部附属病院消化器内科、血液内科、膠原病内科	1,300,000円	補委 日本学術振興会
ウロコリン遺伝子ターゲティングマウスを用いた脳内ストレス防御反応の解明	村澤真香	医学研究科内分泌代謝内科学講座	1,800,000円	補委 日本学術振興会
ベンゾジアゼピン系抗不安薬アルプラゾラムを用いた慢性クッシング症候群の診断	浅利ゆう子	医学部附属病院内分泌内科、糖尿病代謝内科	800,000円	補委 日本学術振興会
がん転移メカニズムに着目したヒト肝胆道系3Dリンパ管システムマップの解明	鯉谷卓司	医学研究科消化器外科科学講座	1,300,000円	補委 日本学術振興会
オレキシン神経系が術後せん妄、術後認知機能障害に与える影響	竹川大貴	医学部附属病院麻酔科	900,000円	補委 日本学術振興会
急性期脊髄損傷における自然回復を予測するための新しいバイオマーカーの確立	新戸部瑠士郎	医学部附属病院リハビリテーション科	1,000,000円	補委 日本学術振興会
メタボロームコホート研究による変形性股関節症の発症・進行因子の探索	大石和生	医学部附属病院整形外科	1,600,000円	補委 日本学術振興会
免疫細胞のテロメア長を用いた癌化学療法法の効果予測バイオマーカーの開発	細越正吾	医学研究科泌尿器科学講座	1,100,000円	補委 日本学術振興会
卵巣明細胞癌に対するCarbonyl reductase 1遺伝子治療の有効性	大澤有矩	医学研究科産科婦人科学講座	1,400,000円	補委 日本学術振興会
モデル動物による好酸球性中耳炎の難治化と内耳障害の研究	工藤直美	医学部附属病院耳鼻咽喉科頭頸部外科	2,100,000円	補委 日本学術振興会
難聴関連遺伝子変異の有病率および保因者頻度の疫学調査	後藤真一	医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科科学講座	1,400,000円	補委 日本学術振興会
ビッグデータを活用した口腔細菌叢比較による骨粗鬆症リスク評価の新展開	田村好祐	医学研究科歯科口腔外科科学講座	1,300,000円	補委 日本学術振興会
へき地医師に対する整形外科診療教育:対面教育とICTを用いた遠隔教育の比較検証	樋元崇	医学部附属病院総合診療部	1,200,000円	補委 日本学術振興会
ビッグデータを用いた食物繊維と腸内環境の関係解明:メタゲノム、メタボローム解析	佐藤諭	医学研究科消化器血液内科学講座	2,200,000円	補委 日本学術振興会
膵臓癌・胆道癌オルガノイドモデルを用いた癌進展機構解明と新規治療開発	鶴田寛	医学研究科消化器外科科学講座	800,000円	補委 日本学術振興会
遺伝性骨髄不全症の登録システムの構築と診断基準・重症度分類・診断ガイドラインの確立に関する研究	伊藤悦朗	大学院医学研究科地域医療学講座	12,308,000円	補委 厚生労働省
がん登録を利用したがん検診の精度管理方法の検討のための研究	松坂方士	医学部附属病院臨床試験管理センター	4,170,000円	補委 厚生労働省
地域がん登録及び全国がん登録事業 R5.3.31	松坂方士	医学部附属病院 臨床試験管理センター	5,594,424円	補委 青森県
小児およびAYA世代のランゲルハンス細胞組織球症LCHに対するシタラビン/ビンクリスチンを中心とした晩期合併症阻止を目的とした新規治療法の開発と長期フォローアップ研究	工藤耕	医学部附属病院 小児科	3,500,000円	補委 国立成育医療研究センター



高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
泌尿器癌、透析患者における貧血と血清ヘプシジン濃度の関係についての検討	岡本哲平	医学部附属病院 臨床試験管理センター	500,000円	補 富士フイルム和光純薬株式会社
小児がん等がん調査事業	照井 善典	医学研究科 小児科学講座	2,951,343円	補 青森県
TAMIにおけるGATAJ遺伝子解析	照井 善典	医学研究科 小児科学講座	1,000,000円	補 国立大学法人東海国立大学機構
ダウン症合併骨髄性白血病に対する標準的治療法の確立	照井 善典	医学研究科 小児科学講座	2,000,000円	補 国立大学法人滋賀医科大学
経口セマグルテドのパーキンソン病に対する有効性検証および用量探索試験	富山 誠彦	医学研究科 脳神経内科学講座	2,500,000円	補 国立大学法人大阪大学
「遠隔手術の社会実装に求められる情報通信技術要件の検証」、「遠隔手術支援ロボットにおける教育機能の開発と力覚を持つロボットの遠隔での実証」、「遠隔手術の遠隔環境構築に係る経済性の検討」、「遠隔手術実施のためのガイドライン改訂に向けた実証研究成果の反映」	袴田 健一	医学研究科 消化器外科学講座	12,867,880円	補 一般社団法人日本外科学会

計131件

- (注 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。  
 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Sato S, Chinda D, Shimoyama T, et al.	消化器内科, 血液内科, 膠原病内科	A Cohort Study of the Effects of Daily-Diet Water-Soluble Dietary Fiber on Butyric Acid-Producing Gut Microbiota in Middle-Aged and Older Adults in a Rural Region	Microorganisms. 2022 Sep 10;10(9):1813.	Original Article
2	Tatsuta T, Sato H, Fujiyoshi Y, et al.	消化器内科, 血液内科, 膠原病内科	Subtype of Achalasia and Integrated Relaxation Pressure Measured Using the Starlet High-resolution Manometry System: A Multicenter Study in Japan	J Neurogastroenterol Motil. 2022 Oct 30;28(4):582-571.	Original Article
3	Hiraga H, Chinda D, Hasui K, et al.	消化器内科, 血液内科, 膠原病内科	Evaluation of Crohn's Disease Small-Bowel Mucosal Healing Using Capsule Endoscopy and Usefulness of Leucine-Rich $\alpha$ 2-Glycoprotein	Diagnostica (Basel). 2023 Feb 8;13(4):628.	Original Article
4	Tatada T, Iino C, Sesseda T, et al.	消化器内科, 血液内科, 膠原病内科	Evaluation of metabolic dysfunction-associated fatty liver disease using FibroScan, diet, and microbiota: A large cross-sectional study	PLoS One. 2022 Nov 23;17(11):e0277930.	Original Article
5	Kudo S, Chinda D, Shimoyama T, et al.	消化器内科, 血液内科, 膠原病内科	Influence of Esophageal Endoscopic Submucosal Dissection on the Changes of Energy Metabolism during the Perioperative Period	Cancers (Basel). 2022 Apr 15;14(8):2015.	Original Article
6	Chinda D, Shimoyama T.	消化器内科, 血液内科, 膠原病内科	Assessment of physical stress during the perioperative period of endoscopic submucosal dissection	World J Gastroenterol. 2022 Aug 28;28(32):4508-4515.	Original Article
7	Iino C, Endo T, Ino K, et al.	消化器内科, 血液内科, 膠原病内科	Reduced Equol Production and Gut Microbiota Features in Men With Lean Nonalcoholic Fatty Liver Disease	Am J Mens Health. 2022 Jul-Aug;16(4):1557883221115598.	Original Article
8	Kimura M, Kobori A, Nitta J, et al.	循環器内科, 腎臓内科	Cryoballoon ablation for paroxysmal atrial fibrillation in Japan: 2-year safety and efficacy results from the Cryo AF Global Registry	J Interv Card Electrophysiol. 2022 Sep;84(3):695-703.	Original Article
9	Kinjo T, Kimura M, Itoh T, et al.	循環器内科, 腎臓内科	Demonstration of presence of a sling between anterior and posterior bundle branch during tachycardia using twin atrioventricular nodes: A case of asplenia syndrome	HeartRhythm Case Rep. 2023 Jan 31;9(4):248-252.	Case report
10	Sakai S, Hagi J, Shikana S, et al.	循環器内科, 腎臓内科	Low Creatinine Clearance Is a Risk Factor for Severe Cardioembolic Stroke in Japanese Female Patients	In Vivo. 2023 Jan-Feb;37(1):338-344.	Original Article
11	Sasaki S, Noda T, Okumura K, et al.	循環器内科, 腎臓内科	Effectiveness of Implantable Cardioverter Defibrillator in Patients With Non-Ischemic Heart Failure With Systolic Dysfunction - Subanalysis of the Nippon Storm Study	Circ J. 2022 Dec 23;87(1):92-100.	Original Article
12	Hamadate M, Yokoyama H, Sakai S, et al.	循環器内科, 腎臓内科	Prognostic Impact of Diabetes Mellitus on Clinical Outcomes in Lean Patients With Acute Myocardial Infarction	In Vivo. 2022 May-Jun;36(3):1383-1390.	Original Article
13	Itoh T, Ishida Y, Tomita H.	循環器内科, 腎臓内科	Answer: Incessant wide QRS complex tachycardia refractory to amiodarone	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care. 2022 Jul 21;11(7):e3-e4.	Case report
14	Itoh T, Ishida Y, Tomita H.	循環器内科, 腎臓内科	Question: Incessant wide QRS complex tachycardia refractory to amiodarone	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care. 2022 Jul 21;11(7):e1-e2.	Case report
15	Yokoyama H, Saiko Y, Senoo M, et al.	循環器内科, 腎臓内科	Successful bailout from the entrapment of self-expanding transcatheter aortic valve system caused by the under-expanded deployed valve	Cardiovasc Interv Ther. 2022 Oct;37(4):751-752.	Case report
16	Hanada K, Sasaki S, Sano M, et al.	循環器内科, 腎臓内科	Reduced Left Ventricular Ejection Fraction Is a Risk for Sudden Cardiac Death in the Early Period After Hospital Discharge in Patients With Acute Myocardial Infarction	Circ J. 2022 Sep 22;86(10):1490-1498.	Original Article
17	Yamazaki K, Ishida Y, Sasaki S, et al.	循環器内科, 腎臓内科	Characterization of the PRAETORIAN score in Japanese patients undergoing subcutaneous implantable cardioverter-defibrillator implantation	J Cardiol. 2022 Nov;80(5):482-486.	Original Article
18	Nishizaki K, Itoh T, Kimura M, et al.	循環器内科, 腎臓内科	Mosaic activation pattern demonstrated by high-resolution mapping during double atrial tachycardia	J Interv Card Electrophysiol. 2022 Aug;84(2):269-270.	Case report
19	Ishida Y, Itoh T, Sasaki S, et al.	循環器内科, 腎臓内科	Substernal and subcutaneous electrocardiograms during subcutaneous implantable cardioverter-defibrillator implantation	J Interv Card Electrophysiol. 2022 Jun;84(1):235-238.	Case report
20	Ito R, Mizushiri S, Nishiya Y, et al.	内分泌内科, 膠原病代謝内科	Two Distinct Groups Are Shown to Be at Risk of Diabetes by Means of a Cluster Analysis of Four Variables	J Clin Med. 2023 Jan 19;12(3):810.	Original Article
21	Kageyama K, Nemoto T.	内分泌内科, 膠原病代謝内科	Molecular Mechanisms Underlying Stress Response and Resilience	Int J Mol Sci. 2022 Aug 12;23(18):8007.	Review
22	Kageyama K, Iwasaki Y, Watanuki Y, et al.	内分泌内科, 膠原病代謝内科	Growth differentiation factor-15 modulates adrenocorticotrophic hormone synthesis in murine AT-20 corticotroph cells	Peptides. 2022 Sep;155:170841.	Original Article
23	Ono S, Mizushiri S, Nishiya Y, et al.	内分泌内科, 膠原病代謝内科	The Relationship between Serum Adiponectin, Urinary Albumin/Creatinine Ratio and Type 2 Diabetes: A Population-Based Cross-Sectional Study	J Clin Med. 2022 Dec 5;11(23):7232.	Original Article
24	Tamura A, Murabayashi M, Nishiya Y, et al.	内分泌内科, 膠原病代謝内科	Correction: Tamura et al. Interrelations between Gut Microbiota Composition, Nutrient Intake and Diabetes Status in an Adult Japanese Population. J. Clin. Med. 2022, 11, 3216	J Clin Med. 2022 Dec 20;12(1):3.	Others
25	Tamura A, Murabayashi M, Nishiya Y, et al.	内分泌内科, 膠原病代謝内科	Interrelations between Gut Microbiota Composition, Nutrient Intake and Diabetes Status in an Adult Japanese Population	J Clin Med. 2022 Jun 5;11(1):3216.	Original Article
26	Hagiwara R, Kageyama K, Iwasaki Y, et al.	内分泌内科, 膠原病代謝内科	Effects of tubastatin A on adrenocorticotrophic hormone synthesis and proliferation of AT-20 corticotroph tumor cells	Endocr J. 2022 Sep 28;69(9):1053-1060.	Original Article
27	Osonoi S, Hamaura K, Murakami H.	内分泌内科, 膠原病代謝内科	A diabetic patient with finger gangrene	Eur J Intern Med. 2022 Sep;103:100-101.	Case report
28	Osonoi S, Mizukami H, Takeuchi Y, et al.	内分泌内科, 膠原病代謝内科	RAGE activation in macrophages and development of experimental diabetic polyneuropathy	JCI Insight. 2022 Dec 8;7(23):e160555.	Original Article

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月号	論文種別
29	Takayasu S, Kagayama K, Daimon M.	内分泌内科, 膠原病代謝内科	Advances in Molecular Pathophysiology and Targeted Therapy for Cushing's Disease	Cancers (Basel). 2023 Jan 13;15(2):486.	Review
30	Kanezaki R, Toki T, Terui K, et al.	小児科	Mechanism of KIT gene regulation by GATA1 lacking the N-terminal domain in Down syndrome-related myeloid disorders	Sci Rep. 2022 Nov 28;12(1):20587.	Original Article
31	Kudo K, Toki T, Kanezaki R, et al.	小児科	BRAF V600E-positive cells as molecular markers of bone marrow disease in pediatric Langerhans cell histiocytosis	Haematologica. 2022 Jul 1;107(7):1719-1725.	Original Article
32	Kudo K, Kubota Y, Toki T, et al.	小児科	Childhood acute myeloid leukemia with 5q deletion and HNRNP11-MLL10 fusion: the first case report	Blood Adv. 2022 May 24;6(10):3162-3168.	Case report
33	Kurotaki K, Fujita M, Aizawa T, et al.	小児科	Aseptic meningitis as initial presentation of subclinical Sjogren's syndrome: Could the cerebrospinal fluid anti-Ro/SSA and anti-La/SSB antibody system be the culprit?	Mod Rheumatol Case Rep. 2022 Jun 24;6(2):217-219.	Case report
34	Imamura Y, Kowatari R, Saito Y, et al.	呼吸器外科, 心臓血管外科	Directing a dispersion cannula tip toward the aortic root during thoracic aortic arch surgery does not adversely affect cardiac function	Perfusion. 2022 Sep;37(6):598-604.	Original Article
35	Hanase S, Ryosuke K, Norihiro K, et al.	呼吸器外科, 心臓血管外科	Right-Sided Chylothorax: A Case Report of an Uncommon Manifestation After Cervical Dabanching Thoracic Endovascular Aneurysm Repair	Vascular and Endovascular Surgery. Aug;56(5):602-604.	Case report
36	Murata K, Saito Y, Watanabe S, et al.	呼吸器外科, 心臓血管外科	Retrograde in situ branched stent grafting for a patient with type V thoracoabdominal aortic aneurysm	J Vasc Surg Cases Innov Tech. 2022 Oct 13;8(4):748-751.	Case report
37	Shuto W, Yoshiaki S, Kenyu M, et al.	呼吸器外科, 心臓血管外科	Amplatzer Vascular Plug With Endologic AFX Lining for Visceral Re-Entry Closure in a Patient With Chronic Type B Aortic Dissection	Journal of Endovascular Therapy 2022 Oct 27;15266028221131450.	Case report
38	Kowatari R, Sasaki H, Yamazaki S, et al.	呼吸器外科, 心臓血管外科	Extended aortic arch repair via simple median sternotomy using a parabrachial approach: A case report	J Card Surg. 2022 Nov;37(11):3919-3921.	Case report
39	Akasaka H, Hakamada K, Morohashi H, et al.	消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科	Impact of the suboptimal communication network environment on telebotonic surgery performance and surgeon fatigue	PLoS One. 2022 Jun 16;17(6):e0270039.	Original Article
40	Takahashi Y, Hakamada K, Morohashi H, et al.	消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科	Reappraisal of telesurgery in the era of high-speed, high-bandwidth, secure communications: Evaluation of surgical performance in local and remote environments	Ann Gastroenterol Surg. 2022 Aug 12;7(3):167-174.	Original Article
41	Morohashi H, Sakamoto Y, Miura T, et al.	消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科	Short-term outcomes of robotic-assisted surgery following neoadjuvant chemotherapy for lower rectal cancer	Asian J Endosc Surg. 2022 Jul;15(3):577-584.	Original Article
42	Igawa A, Mizukami H, Kudoh K, et al.	消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科	Perivascular infiltration reflects subclinical lymph node metastasis in invasive lobular carcinoma	Virchows Arch. 2022 Oct;481(4):533-543.	Original Article
43	Sakamoto Y, Morohashi H, Miura T, et al.	消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科	A Prospective Multicenter Phase II Study on the Feasibility and Efficacy of S-1 and Oxaliplatin Neoadjuvant Chemotherapy for Locally Advanced Rectal Cancer	Dis Colon Rectum. 2022 May 1;65(5):663-671.	Original Article
44	Miura T, Sakamoto Y, Morohashi H, et al.	消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科	Robotic surgery contributes to the preservation of bowel and urinary function after total mesorectal excision: comparisons with transanal and conventional laparoscopic surgery	BMC Surg. 2022 Apr 21;22(1):147.	Original Article
45	Kanda T, Wakiya T, Ishido K, et al.	消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科	Heterogeneity of metabolic adaptive capacity affects the prognosis among pancreatic ductal adenocarcinomas	J Gastroenterol. 2022 Oct;57(10):798-811.	Original Article
46	Ghida K, Ishido K, Sakamoto Y, et al.	消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科	Necrotizing pancreatitis complicated by retroperitoneal emphysema: two case reports	Surg Case Rep. 2022 Sep 27;8(1):183.	Case report
47	Yachi T, Yoshizawa T, Kimura N, et al.	消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科	(18)F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography predicts recurrence and histological grade of extrahepatic bile duct cancer	Oncol Lett. 2023 Feb 9;25(3):125.	Original Article
48	Fujita H, Wakiya T, Ishido K, et al.	消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科	Differential diagnoses of gallbladder tumors using CT-based deep learning	Ann Gastroenterol Surg. 2022 Jun 11;6(6):823-832.	Case report
49	Wakiya T, Ishido K, Kimura N, et al.	消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科	CT-based deep learning enables early postoperative recurrence prediction for intrahepatic cholangiocarcinoma	Sci Rep. 2022 May 19;12(1):8428.	Original Article
50	Asari T, Wada K, Kumagai G, et al.	整形外科	Usefulness of digital tomosynthesis in diagnosing cervical ossification of the posterior longitudinal ligament: a comparative study with other imaging modalities	Eur Spine J. 2022 Dec;31(112):3470-3478.	Original Article
51	Ishibashi K, Sasaki E, Chiba D, et al.	整形外科	Effusion detected by ultrasonography and overweight may predict the risk of knee osteoarthritis in females with early knee osteoarthritis: a retrospective analysis of Iwaki cohort data	BMC Musculoskelet Disord. 2022 Nov 28;23(1):1021.	Original Article
52	Ishibashi K, Ikegami K, Shimbo T, et al.	整形外科	Single-cell transcriptome analysis reveals cellular heterogeneity in mouse intra- and extra articular ligaments	Commun Biol. 2022 Nov 12;5(1):1233.	Original Article
53	Ishibashi K, Sasaki E, Wijaya E, et al.	整形外科	A Novel Quantitative Evaluation of Bone Formation After Opening Wedge High Tibial Osteotomy Using Tomosynthesis	J Digit Imaging. 2022 Oct;35(5):1373-1381.	Original Article
54	Oyama T, Wada K, Koyama K, et al.	整形外科	Relationship between the cross-sectional area of the lumbar dural sac and lower urinary tract symptoms: A population-based cross-sectional study	PLoS One. 2022 Aug 11;17(8):e0271479.	Original Article
55	Kumagai G, Wada K, Asari T, et al.	整形外科	Association of Methicillin-Resistant Coagulase-Negative Staphylococci on Preoperative Skin and Surgical Site Infection in Patients Undergoing Spinal Surgery: A Retrospective Cohort Study	Spine Surg Relat Res. 2022 Apr 12;6(8):596-603.	Original Article
56	Kurose R, Satoh T, Kurose A, et al.	整形外科	Association of CD30 Expression by CD14(+) Dendritic-Shaped Cells in Rheumatoid Arthritis Synovial Tissue With Chronic Inflammation	ACR Open Rheumatol. 2022 Jul;4(7):603-612.	Original Article

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
57	Sasaki E, Yamamoto H, Asari T, et al.	整形外科	Metabonomics with severity of radiographic knee osteoarthritis and early phase synovitis in middle-aged women from the Iwaki Health Promotion Project: a cross-sectional study	Arthritis Res Ther. 2022 Jun 17;24(1):145.	Original Article
58	Sasaki E, Kimura Y, Sasaki S, et al.	整形外科	Influence of hamstring tendon and bone-patellar tendon-bone autografts on worsened patient reported outcome measurements in revision anterior cruciate ligament reconstruction: Comparing outcomes between primary and revision reconstructions	Asia Pac J Sports Med Arthrosc Rehabil Technol. 2022 May 16;28:1-8.	Original Article
59	Sasaki E, Ikumi A, Sakuyama N, et al.	整形外科	High-rate settlement and unconsciousness with shime-waza in young judo athletes from a video analytic study in Judo World Championships	J Sci Med Sport. 2022 Nov;25(11):942-947.	Original Article
60	Sasaki E, Kimura Y, Sasaki S, et al.	整形外科	Clinical outcomes of medial patellofemoral ligament reconstruction using FiberTape and knotless SwiveLock anchors	Knee. 2022 Aug;37:71-79.	Original Article
61	Spruta K, Fukutoku T, Kumagai G, et al.	整形外科	Intraperitoneal Administration of Etizolam Improves Locomotor Function in Mice After Spinal Cord Injury	Neurotrauma Rep. 2023 Feb 22;4(1):82-88.	Original Article
62	Chiba D, Ohyama T, Sasaki E, et al.	整形外科	Higher fasting blood glucose worsens knee symptoms in patients with radiographic knee osteoarthritis and comorbid central sensitization: An Iwaki cohort study	Arthritis Res Ther. 2022 Dec 13;24(1):289.	Original Article
63	Chiba D, Yamamoto Y, Kimura Y, et al.	整形外科	Association Between Early Postoperative Graft Signal Intensity and Residual Knee Laxity After Anterior Cruciate Ligament Reconstruction	Orthop J Sports Med. 2022 Jul 21;10(7):23259871221109808.	Original Article
64	Fujita Y, Sasaki E, Yoneda K, et al.	整形外科	Menstrual Status and Pregnancy in Former Elite Long-Distance Runners With Menstrual Disorders	Clin J Sport Med. 2023 Mar 1;33(2):172-178.	Original Article
65	Yamauchi R, Ohshika S, Ono H, et al.	整形外科	Diagnosis and Treatment of Brown Tumor in the Femur Induced by Parathyroid Carcinoma: A Case Report	Case Rep Oncol. 2022 Nov 28;15(3):1074-1080.	Original Article
66	Wada K, Imegama S, Matsuyama Y, et al.	整形外科	Comparison of intraoperative neuromonitoring accuracies and procedures associated with alarms in anterior versus posterior fusion for cervical spinal disorders: A prospective multi-institutional cohort study	Medicine (Baltimore). 2022 Dec 9;101(49):e31846.	Original Article
67	Fujita A, Iwata M, Hagii J, et al.	リハビリテーション科	The effects of combined early oral health care and early mobilisation on the incidence of stroke-associated pneumonia	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2023 Jan;32(1):106883.	Original Article
68	Korekawa A, Nakajima K, Fukushi K, et al.	皮膚科	Three cases of drug-induced hypersensitivity syndrome associated with mRNA-based coronavirus disease 2019 vaccines	J Dermatol. 2022 Jun;49(6):852-855.	Case report
69	Minakawa S, Matsuzaki Y, Hashimoto Y, et al.	皮膚科	A Case of Anti-BP180-type Mucous Membrane Pemphigoid with IgG and IgA Autoantibodies Showing Distinct Reactivities	Acta Dermatovenerol Croat. 2022 Jul;30(1):54-58.	Case report
70	Yoshikawa M, Akasaka E, Nakano H, et al.	皮膚科	Dystrophic calcinosis cutis in a patient with cutaneous sarcoidosis in remission	Skin Health Dis. 2022 Sep 29;3(1):a174.	Case report
71	Kogawa K, Matsuzaki Y, Kimura A, et al.	皮膚科	Ultraviolet B irradiation leads to the development of experimental bullous pemphigoid targeting BPAG1e	J Dermatol Sci. 2022 Nov;108(2):112-115.	Letter
72	Yamashita A, Fukui T, Akasaka E, et al.	皮膚科	A mild case of acute generalized exanthematous pustulosis caused by gemcitabine	J Dermatol. 2022 Aug;49(8):e261-e263.	Letter
73	Korekawa A, Nakajima K, Nakano H, et al.	皮膚科	Clarithromycin for the treatment of pyoderma gangrenosum associated with myelodysplastic syndrome	J Dermatol. 2022 Apr;49(4):e131-e132.	Case report
74	Akasaka E, Nakano H, Sawamura D.	皮膚科	Kindler epidermolysis bullosa associated with oral cancer in the buccal mucosa	JAAD Case Rep. 2022 Jun 18;28:13-16.	Case report
75	Akasaka E, Nakano H, Sawamura D.	皮膚科	Two cases of the intermediate phenotype of recessive dystrophic epidermolysis bullosa harboring the novel COL7A1 mutation c.35700>A	J Dermatol Sci. 2022 Jun;106(3):193-195.	Others
76	Oishi T, Hatakeyama S, Tabata R, et al.	泌尿器科	Comparison of neoadjuvant chemotherapy vs. extended pelvic lymph-node dissection in high-risk prostate cancer treated with robot-assisted radical prostatectomy	Sci Rep. 2023 Mar 1;13(1):3438.	Original Article
77	Oishi T, Hatakeyama S, Tabata R, et al.	泌尿器科	Effects of apalutamide dose reduction on skin-related adverse events in patients with advanced prostate cancer: A multicenter retrospective study	Prostate. 2023 Feb;83(2):186-203.	Original Article
78	Ozaki K, Hatakeyama S, Narita S, et al.	泌尿器科	Comparison of efficacy and medical costs between upfront docetaxel and abiraterone treatments of metastatic hormone-sensitive prostate cancer patients in real-world practice: a multicenter retrospective study	World J Urol. 2023 Jan;41(1):67-75.	Original Article
79	Ozaki Y, Narita T, Hatakeyama S, et al.	泌尿器科	Trends of incidence and age in adults with testicular germ cell tumors: a two-decade multicenter retrospective study	Transl Androl Urol. 2023 Feb 26;12(2):161-167.	Original Article
80	Togashi K, Hatakeyama S, Soma O, et al.	泌尿器科	Utility of the Age Discrepancy between Frailty-Based Biological Age and Expected Life Age in Patients with Urological Cancers	Cancers (Basel). 2022 Dec 17;14(24):8229.	Original Article
81	Fujita N, Hatakeyama S, Momota M, et al.	泌尿器科	Single immediate instillation of chemotherapy is associated with decreased recurrence and progression in patients with high-risk non-muscle-invasive bladder cancer who receive adjuvant induction bacillus Calmette-Guérin therapy	Int J Urol. 2022 Aug;29(8):867-875.	Original Article
82	Fujita N, Hatakeyama S, Okita K, et al.	泌尿器科	Impact of an optimized surveillance protocol based on the European Association of Urology stratification on surveillance costs in patients with primary high-risk non-muscle-invasive bladder cancer	PLoS One. 2023 Feb 10;18(2):e0275921.	Original Article
83	Fujita N, Momota M, Horiguchi H, et al.	泌尿器科	Combination of Muscle Quantity and Quality is Useful to Assess the Necessity of Surveillance after a 5-Year Cancer-Free Period in Patients Who Undergo Radical Cystectomy: A Multi-Institutional Retrospective Study	Cancers (Basel). 2023 Feb 27;15(3):1489.	Original Article
84	Miura Y, Hatakeyama S, Narita S, et al.	泌尿器科	Effect of upfront intensive therapy on oncological outcomes in older patients with high tumor burden metastatic castration-sensitive prostate cancer: A multicenter retrospective study	Prostate. 2022 Sep;82(13):1304-1312.	Original Article

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
85	Iwamura H, Mizuno K, Akamatsu S, et al.	泌尿器科	Machine learning diagnosis by immunoglobulin N-glycan signatures for precision diagnosis of urological diseases	Cancer Sci. 2022 Jul;113(7):2434-2445.	Original Article
86	Iwamura H, Hatakeyama S, Narita T, et al.	泌尿器科	Significance of pelvic lymph node dissection during radical prostatectomy in high-risk prostate cancer patients receiving neoadjuvant chemohormonal therapy	Sci Rep. 2022 Jun 11;12(1):8675.	Original Article
87	Kodama H, Hatakeyama S, Hamaya T, et al.	泌尿器科	Kidney Transplantation in a Patient With Noonan Syndrome: A Case Report	Transplant Proc. 2022 Jul-Aug;54(8):1601-1603.	Original Article
88	Tanaka R, Hatakeyama S, Miura H, Hamaya T, et al.	泌尿器科	Proportion of patients eligible for adjuvant immunotherapy in nonmetastatic clear-cell renal cell carcinoma treated with radical or partial nephrectomy	Int J Urol. 2022 Oct;29(10):1235-1237.	Original Article
89	Fujita N, Momota M, Ishida M, et al.	泌尿器科	Association of oxidative stress with erectile dysfunction in community-dwelling men and men on dialysis	Aging Male. 2022 Dec;25(1):193-201.	Original Article
90	Fujita N, Hatakeyama S, Momota M, et al.	泌尿器科	Relationships of low-grade systemic inflammation and nutritional status with erectile dysfunction severity in men on dialysis	Andrology. 2022 Nov;10(6):1546-1555.	Original Article
91	Fujita N, Hatakeyama S, Momota M, et al.	泌尿器科	Risk score-based substratification improves surveillance costs after transurethral resection of bladder tumor in patients with primary high-risk non-muscle-invasive bladder cancer	Sci Rep. 2022 Aug 12;12(1):13788.	Original Article
92	Fujita N, Hatakeyama S, Momota M, et al.	泌尿器科	Associations of impaired grip strength and gait function with the severity of erectile dysfunction in men undergoing dialysis: a cross-sectional study	Aging Male. 2022 Dec;25(1):1-7.	Original Article
93	Ozaki K, Hatakeyama S, Hamaya T, et al.	泌尿器科	Association of oncological response between the first-line chemotherapy and subsequent immune checkpoint inhibitors therapy in patients with unresectable or metastatic urothelial carcinoma	Int J Urol. 2022 Apr;28(4):302-304.	Others
94	Togashi K, Hatakeyama S, Yoneyama T, et al.	泌尿器科	Effect of active anticancer therapy on serologic response to SARS-CoV-2 BNT162b2 vaccine in patients with urothelial and renal cell carcinoma	Int J Urol. 2022 Jul;28(7):733-739.	Original Article
95	Hamaya T, Hatakeyama S, Yoneyama T, et al.	泌尿器科	Seroprevalence of SARS-CoV-2 spike IgG antibodies after the second BNT162b2 mRNA vaccine in Japanese kidney transplant recipients	Sci Rep. 2022 Apr 7;12(1):5878.	Original Article
96	Kudo T, Yamauchi K, Suzuki Y, et al.	眼科	A case of herpes zoster ophthalmicus with optic neuritis of the total length of the optic nerve in the orbital space and ischemic optic neuropathy	Am J Ophthalmol Case Rep. 2022 Nov 23;28:101756.	Case report
97	Saito M, Kobori H, Nozaki N, et al.	眼科	A case of intracocular inflammation after intravitreal brodalumab injection monitored by laser flare-cell photometer	Am J Ophthalmol Case Rep. 2022 Oct 15;28:101727.	Case report
98	Suzuki S, Kudo N, Matsushita D, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Major basic protein deposited at intra mucosal epithelium with probable eosinophilic chronic rhinosinusitis	Asia Pac Allergy. 2022 Jul 16;12(3):a28.	Original Article
99	Miura S, Sasaki A, Kasai S, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Association of mitochondrial DNA haplogroup and hearing impairment with aging in Japanese general population of the Iwaki Health Promotion Project	J Hum Genet. 2022 Jun;67(6):369-375.	Original Article
100	Yamaguchi T, Nomura A, Matsubara A, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Effect of gut microbial composition and diversity on major inhaled allergen sensitization and onset of allergic rhinitis	Allergol Int. 2023 Jan;72(1):135-142.	Original Article
101	Ichise K, Hirose K, Sato M, et al.	放射線治療科	Complementary killing effect of tirapazamine in combination with radiation therapy on cells with high aldehyde dehydrogenase activity in SAS cell line	Int J Radiat Res. 2022. 20(2): 269-276	Original Article
102	Iino K, Higuchi T, Tanaka K, et al.	産科婦人科	Association between the Change in Blood Pressure during Normotensive Pregnancy and the Development of Hypertension in Later Life	JMA J. 2023 Jan 16;6(1):48-54.	Original Article
103	Oishi M, Tanaka K, Ishihara K, et al.	産科婦人科	Current status of long-term follow-up system for women with a history of hypertensive disorders of pregnancy: the HDP-PPAP study (HDP-Postpartum in Aomori prefecture study)	J Matern Fetal Neonatal Med. 2023 Dec;36(1):2183757.	Original Article
104	Yokoyama M, Fujita T, Kadonosawa Y, et al.	産科婦人科	Development of transgenic mice overexpressing mouse carbonyl reductase 1	Mol Biol Rep. 2023 Jan;50(1):531-540.	Original Article
105	Takabayashi-Ebina A, Higuchi T, Yokoyama M, et al.	産科婦人科	Survey on the Awareness of Menstruation and Menstruation-Related Problems in Athletes among Public High School Physical Education Teachers	JMA J. 2023 Jan 16;6(1):55-62.	Original Article
106	Uchida S, Kinoshita H, Takekawa D, et al.	麻酔科	Acute normovolemic hemodilution reduced the frequency and amount of perioperative allogeneic blood transfusion in pediatric and adolescent scoliosis surgery: a retrospective observational study	J Anesth. 2022 Aug;36(4):484-492.	Original Article
107	Kiyokawa M, Saito J, Nakai K, et al.	麻酔科	A Remimazolam and Remifentanyl Anesthetic for a Pediatric Patient With a Medium-Chain Acyl-CoA Dehydrogenase Deficiency: A Case Report	A A Pract. 2022 Dec 16;16(12):61646.	Case report
108	Kubota M, Niwa H, Seys K, et al.	麻酔科	Ketamine Does Not Change Natural Killer Cell Cytotoxicity in Patients Undergoing Cancer Surgery: Basic Experiment and Clinical Trial	J Oncol. 2022 Apr 8;2022:8946269.	Original Article
109	Takekawa D, Endo H, Hashiba E, et al.	麻酔科	Predict models for prolonged ICU stay using APACHE II, APACHE III and SAPS II scores: A Japanese multicenter retrospective cohort study	PLoS One. 2022 Jun 16;17(6):e0269737.	Original Article
110	Uchida S, Takekawa D, Hirota K.	麻酔科	Delayed emergence due to remimazolam extravasation	JA Clin Rep. 2022 Dec 9;8(1):98.	Case report
111	Uchida S, Takekawa D, Hashiba E, et al.	麻酔科	Anesthetic management with remimazolam in a patient with Child-Pugh C liver cirrhosis: a case report	JA Clin Rep. 2022 Dec 27;8(1):99.	Case report
112	Uchida S, Kudo R, Takekawa D, et al.	麻酔科	Anesthetic management of a patient with subclinical myasthenia gravis who underwent a thyrectomy: a case report	JA Clin Rep. 2022 Jul 15;8(1):49.	Case report

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月号	論文種別
113	Uchida S, Takekawa D, Hori M, et al.	麻酔科	Bedside insertion of a peripherally inserted central catheter into a patient with BMI of 54.8 kg/m(2) using a magnetic tracking and electrocardiogram-based tip confirmation system: a case report	JA Clin Rep. 2022 Aug 27;8(1):69.	Case report
114	Kinoshita H, Takekawa O, Kudo T, et al.	麻酔科	Publisher Correction: Higher neutrophil-lymphocyte ratio is associated with depressive symptoms in Japanese general male population	Sci Rep. 2022 Jul 11;12(1):1770.	Original Article
115	Kinoshita H, Takekawa O, Kudo T, et al.	麻酔科	Higher neutrophil-lymphocyte ratio is associated with depressive symptoms in Japanese general male population	Sci Rep. 2022 Jun 3;12(1):9268.	Original Article
116	Kinoshita H, Hashiba E, Uchida S, et al.	麻酔科	Successful management of a patient with preoperative respiratory failure due to a solid giant retroperitoneal tumor: a case report	JA Clin Rep. 2022 Oct 17;8(1):85.	Case report
117	Noguchi S, Saito J, Hashiba E, et al.	麻酔科	Dramatic improvement of cardiac function after living-donor renal transplantation in a long-term hemodialysis patient with severe mitral regurgitation	JA Clin Rep. 2022 Dec 9;8(1):85.	Case report
118	Hirota K, Lambert DG.	麻酔科	Ketamine: history and role in anesthetic pharmacology	Neuropharmacology. 2022 Sep 15;216:109171.	Review
119	Hirota K.	麻酔科	H(2) antagonists, proton pump inhibitors and COVID-19	J Anesth. 2022 Jun;38(3):329-331.	Review
120	Asano K, Yamashita Y, Ono T, et al.	脳神経外科	Clinicopathological risk factors for a poor prognosis of primary central nervous system lymphoma in elderly patients in the Yokohama and Niigata area: a multicenter, retrospective, cohort study of the Tohoku Brain Tumor Study Group	Brain Tumor Pathol. 2022 Jul;39(3):139-150.	Original Article
121	Shimamura N, Katagai T, Ohtsuka H, et al.	脳神経外科	Analysis of Factors Influencing Delayed Presentation in Japanese Patients with Subarachnoid Hemorrhage	World Neurosurg. 2023 Mar;171:e590-e595.	Original Article
122	Shimamura N, Narazaki M, Uchida K, et al.	脳神経外科	Reperfusion Therapy Brings Apixaban Administration Forward in Patients with Nonvalvular Arterial Fibrillation with Anterior Circulation Large Vessel Occlusion or Stenosis	World Neurosurg. 2022 Jun;162:e503-e510.	Original Article
123	Kakuta K, Asano K, Shimamura N, et al.	脳神経外科	Dysembryoplastic Neuroepithelial Tumor of the Infratentorial Multiple Lesions: A Case Report and Review of the Literature	NMC Case Rep J. 2022 Apr 28;9:89-94.	Original Article
124	Nomura Y, Narazaki M, Fujiwara N, et al.	脳神経外科	Chronic Subdural Hematoma, Caused by Disseminated Intravascular Coagulation and/or Anticoagulation Therapy, after COVID-19	NMC Case Rep J. 2022 Jun 15;9:165-169.	Original Article
125	Maita H, Kobayashi T, Akimoto T, et al.	総合診療部	Evaluation of simulation-based ultrasound education using a bladder simulator for medical students in Japan: a prospective observational study	J Med Ultrason (2001). 2023 Jan;50(1):73-80.	Original Article
126	Maita H, Kobayashi T, Akimoto T, et al.	総合診療部	Factors associated with children's seasonal influenza diagnosis by their guardians: a prospective observational study in Japan	J Prim Health Care. 2022 Apr;4(1):29-36.	Original Article
127	Maita H, Kobayashi T, Akimoto T, et al.	総合診療部	Pseudo-fever caused by predictive electronic thermometers: A case report	SAGE Open Med Case Rep. 2022 Oct 8;10:2050313X221129772.	Case report
128	Maita H, Kobayashi T, Akimoto T, et al.	総合診療部	Functional hyperthermia caused by obstructive sleep apnea syndrome: A case report	SAGE Open Med Case Rep. 2022 Sep 14;10:2050313X221123308.	Case report
129	Maita H, Kobayashi T, Akimoto T, et al.	総合診療部	Clinical diagnosis of seasonal influenza by physicians: a retrospective observational study	BMJ Open. 2022 Jul 22;12(7):e055910.	Original Article
130	Ichihama S, Maruhashi T, Kitamura R, et al.	高度救命救急センター	Endovascular thrombectomy using a stent retriever catheter for massive pulmonary thromboembolism	Am J Emerg Med. 2022 Nov;61:233.e3-233.e6.	Case report
131	Nomura O, Hashiba K, Kikuchi M, et al.	高度救命救急センター	Performance of the 0-Hour/1-Hour Algorithm for Diagnosing Myocardial Infarction in Patients With Chest Pain in the Emergency Department - A Systematic Review and Meta-Analysis	Circ Rep. 2022 Apr 20;4(6):241-247.	Original Article
132	Kawabayashi T, Nakamura T, Sato K, et al.	脳神経内科	Lipid Rafts Act as a Common Platform for Amyloid-β Oligomer-Induced Alzheimer's Disease Pathology	J Alzheimers Dis. 2022;87(3):1189-1203.	Original Article
133	Kon T, Mori F, Kinoshita I, et al.	脳神経内科	An autopsy case of amyotrophic lateral sclerosis with striatonigral and pallidolysian degeneration and cat's-eye-shaped neuronal nuclear inclusions	Neuropathology. 2022 Aug;42(4):329-338.	Case report
134	Kon T, Mori F, Tanji K, et al.	脳神経内科	Accumulation of Nonfibrillar TDP-43 in the Rough Endoplasmic Reticulum Is the Early-Stage Pathology in Amyotrophic Lateral Sclerosis	J Neuropathol Exp Neurol. 2022 Mar 29;81(4):271-281.	Original Article
135	Nahijima H, Mori F, Kimura T, et al.	脳神経内科	Cabergoline, a long-acting dopamine agonist, attenuates L-dopa-induced dyskinesia without L-dopa sparing in a rat model of Parkinson's disease	Neurosci Res. 2022 May;178:93-97.	Original Article
136	Kato N, Kamataki A, Kurotaki H.	病理部	Mature and immature ovarian teratomas share methylation profiles of imprinted genes: a MS-MPLA analysis	Virchows Arch. 2023 Mar;482(3):581-586.	Original Article
137	Kato N, Kimura N.	病理部	Pheochromocytoma and multiple paragangliomas associated with Eisenmenger syndrome: An autopsy case	Pathol Int. 2022 Jun;72(6):348-351.	Case report
138	Ogawa K, Kimura N, Wakabayashi O, et al.	病理部	Localized biphasic mesothelioma with prominent myxoid stroma	Pathology. 2022 Apr;54(3):381-384.	Original Article
139	Suzuki S, Subsomwong P, Narita K, et al.	呼吸器内科, 感染症科	Differential proteomic analysis and pathogenic effects of outer membrane vesicles derived from Acinetobacter baumannii under normoxia and hypoxia	PLoS One. 2023 Mar 15;18(3):e0283109.	Original Article
140	Tasaka S, Ohshimo S, Takeuchi M, et al.	呼吸器内科, 感染症科	ARDS Clinical Practice Guideline 2021 committee from the Japanese Society of Intensive Care Medicine, the Japanese Respiratory Society, and the Japanese Society of Respiratory Care Medicine. ARDS Clinical Practice Guideline 2021	J Intensive Care. 2022 Jul 8;10(1):32.	Original Article

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
141	Tasaki S, Chahimo S, Takeuchi M, et al.	呼吸器内科, 感染症科	ARDS Clinical Practice Guidelines Committee 2021 from the Japanese Respiratory Society, the Japanese Society of Intensive Care Medicine, and the Japanese Society of Respiratory Care Medicine. ARDS clinical practice guideline 2021	Respir Investig. 2022 Jul;60(4):446-495.	Original Article
142	Tanaka H, Sakamoto H, Akita T, et al.	呼吸器内科, 感染症科	Clinical efficacy of dacomitinib in rchallenge setting for patients with epidermal growth factor receptor mutant non-small cell lung cancer: A multicenter retrospective analysis (TOPGAN2020-02)	Thorac Cancer. 2022 May;13(10):1471-1478.	Original Article
143	Tanaka H, Tanzawa S, Mizumi T, et al.	呼吸器内科, 感染症科	A phase II study of S-1 and cisplatin with concurrent thoracic radiotherapy followed by durvalumab for unresectable, locally advanced non-small-cell lung cancer in Japan (SAMURAI study): primary analysis	Ther Adv Med Oncol. 2022 Dec 18;14:17588359221142786.	Original Article
144	Fukushima T, Makiguchi T, Tanaka Y, et al.	呼吸器内科, 感染症科	Feasibility and safety of platinum-doublet therapy in patients with small-cell lung cancer in the third-line setting: A multi-institutional retrospective study	Oncol Lett. 2022 Sep 1;24(4):368.	Original Article
145	Makiguchi T, Tanaka H, Teima K, et al.	呼吸器内科, 感染症科	Diabetic ketoacidosis shortly after COVID-19 vaccination in a non-small-cell lung cancer patient receiving combination of PD-1 and CTLA-4 inhibitors: A case report.	Thorac Cancer. 2022 Apr; 13(8): 1220-1223.	Case report
146	Ishioke Y, Makiguchi T, Itoga M, et al.	呼吸器内科, 感染症科	Acute Exacerbation of Interstitial Lung Disease After SARS-CoV-2 Vaccination: A Case Series	Chest. 2022 Dec;162(6):e311-e318.	Case report
147	Tabo C, Dobashi M, Ishioke Y, et al.	呼吸器内科, 感染症科	Morphological features of bronchiectasis in patients with non-tuberculous mycobacteriosis and interstitial pneumonia	BMC Res Notes. 2022 Jul 28;15(1):263.	Original Article
148	Dobashi M, Shiratori T, Imaizumi T, et al.	呼吸器内科, 感染症科	Toll-like receptor 3 signaling induces interferon-induced transmembrane protein 1 in BEAS-2B cells	Exp Biol Med (Maywood). 2022 Nov;247(21):1917-1922.	Original Article
149	Tatsuo S, Tatsuo S, Tsumura F, et al.	放射線診断科	Improved visualization of the subthalamic nucleus on synthetic MRI with optimized parameters: Initial study	Acta Radiol. 2023 Feb;64(2):690-697.	Case report
150	Manuyama S, Tatsuo S, Tatsuo S, et al.	放射線診断科	Quantification of the Intrinsic T1 and T2 of Heesch's Gyri with MR Fingerprinting	Magn Reson Med Sci. 2023 Jan 1;22(1):95-101.	Case report
151	Natumi A, Kosei K, Shotaro K, et al.	歯科口腔外科	Effect of bisphosphonate alendronate on ERK-dependent growth in human gingival fibroblasts	THE HIROSAKI MEDICAL JOURNAL Vol.73, No.1-4(2023)	Original Article
152	Haruka F, Wataru K, Kosei K, et al.	歯科口腔外科	Assessment time of treatment response by PET-CT after superselective intra-arterial chemoradiotherapy for oral cancer	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology Vol.34(3)May 2022.P287-293	Original Article
153	Ken F, Haruka F, Kosei K, et al.	歯科口腔外科	Early unilateral rheumatoid arthritis of temporomandibular joint as the only site; A case report and literature review	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology Vol.34(4)July 2022. P487-500	Case report
154	Kubota K, Ito R, Narita N, et al.	歯科口腔外科	Utility of prognostic nutritional index and systemic immune-inflammation index in oral cancer treatment	BMC Cancer. 2022 Apr 7;22(1):368.	Original Article
155	Goto T, Yaguchi S, Ogasawara J, et al.	臨床工学部	Early Initiation of Venovenous Extracorporeal Membrane Oxygenation for Critically Ill COVID-19 Patients	J Extra Corpor Technol. 2022 Mar;54(1):79-82.	Case report
156	Nakagawa J, Kinjo T, Aiuchi N, et al.	薬剤部	Impacts of pregnane X receptor and cytochrome P450 oxidoreductase gene polymorphisms on trough concentrations of apixaban in patients with non-valvular atrial fibrillation	Eur J Clin Pharmacol. 2023 Jan;79(1):127-135.	Original Article
157	Yokoyama S, Nakagawa J, Kudo M, et al.	薬剤部	Impact of solute carrier transporter gene polymorphisms on serum creatinine concentrations in healthy volunteers	Pharmacol Res Perspect. 2023 Feb;11(1):e01048.	Original Article
158	Aiuchi N, Nakagawa J, Sakuraba H, et al.	薬剤部	Impact of polymorphisms of pharmacokinetics-related genes and the inflammatory response on the metabolism of voriconazole	Pharmacol Res Perspect. 2022 Apr;10(2):e00935.	Original Article
159	Saito N, Kitazawa J, Horiuchi H, et al.	感染制御センター	Interhospital transmission of vancomycin-resistant Enterococcus faecium in Aomori, Japan	Antimicrob Resist Infect Control. 2022 Jul 23;11(1):98.	Original Article
160	Yamamoto H, Sasaki A, Oaska M, et al.	放射線部	Improvement of Quantitative Single-Photon Emission Computed Tomography Image Quality by the New Step-and-Shoot Scan Mode	Radiation. 2022 April;2(2):168-178.	Original Article

計160件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限り。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article, Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 委員会の構成、倫理審査申請から審査結果までの流れなど。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年69回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 利益相反マネジメントの対象及び基準、委員会構成など。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年1回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容 倫理指針を再度読み解く、など。	

(注) 前年度の実績を記載すること。



(様式第 4)

## 高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

### 1 研修の内容

弘前大学医学部附属病院の専門医養成研修プログラムは、将来その分野の先端を担う人間性豊かな良医の育成と科学的な思考能力の涵養、最先端の医療技術の習得を目標としている。そのために、大学病院ならではの症例等の豊富さ、経験豊かな先輩医師、診療科を超えた総合的診療体制、大学院在籍中でも研修可能など多くのメリットを活用して、若き医師の学位、各領域認定医・専門医の資格取得などキャリアアップを支援する体制を整えている。

平成 30 年 4 月から新専門医制度による専門研修を開始しており、当院の専門研修プログラムは、以下 19 基本領域全てを整備している。

内科、精神科、小児科、外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、産婦人科、麻酔科、脳神経外科、形成外科、救急科、臨床検査、病理、総合診療

また、従来から、以下の各学会の公認する専門医養成施設となっている。

日本小児科学会、日本皮膚科学会、日本精神神経学会、日本外科学会、日本整形外科学会、日本産科婦人科学会、日本泌尿器科学会、日本医学放射線学会、日本麻酔科学会、日本病理学会、日本救急医学会、日本消化器病学会、日本循環器学会、日本血液学会、日本内分泌学会、日本糖尿病学会、日本腎臓学会、日本肝臓学会、日本アレルギー学会、日本老年医学会、日本神経学会、日本消化器外科学会、呼吸器外科専門医合同委員会、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構、日本小児外科学会、日本心身医学会、日本リウマチ学会、日本消化器内視鏡学会、日本大腸肛門病学会、日本周産期・新生児医学会、日本核医学会、日本集中治療医学会、日本輸血・細胞治療学会、日本透析医学会、日本臨床腫瘍学会、日本ペインクリニック学会、日本脳卒中学会、日本肝胆膵外科学会、日本乳癌学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本高血圧学会、日本手外科学会、日本婦人科腫瘍学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本がん治療認定医機構・日本がん治療認定医機構（歯科口腔外科）、日本熱傷学会、日本臨床細胞学会、日本緩和医療学会、日本頭頸部外科学会、日本インターベンショナルラジオロジー学会、日本認知症学会、日本小児循環器学会、日本生殖医学会、日本胆道学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本小児血液・がん学会、日本心臓血管麻酔学会、日本不整脈心電学会、日本感染症学会、日本脈管学会、日本カプセル内視鏡学会、日本消化管学会、日本産科婦人科内視鏡学会、日本内分泌外科学会、日本リハビリテーション医学会、日本小児神経学会、日本女性医学学会、日本食道学会、日本脊椎脊髄病学会、日本呼吸療法医学会、日本心身医学会・日本心療内科学会合同心療内科専門医制度委員会、日本血栓止血学会、日本腹部救急医学会、日本脳神経外傷学会、日本成人先天性心疾患学会、日本口腔外科学会、日本小児口腔外科学会、日本口腔腫瘍学会、日本口腔科学会

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

### 2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	364.17人
-------------	---------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

### 3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
櫻庭 裕丈	消化器内科、血液内科、膠原病内科	教授	24年	
富田 泰史	循環器内科、腎臓内科	教授	25年	
田坂 定智	呼吸器内科、感染症科	教授	32年	
蔭山 和則	内分泌内科、糖尿病代謝内科	准教授	30年	
富山 誠彦	脳神経内科	教授	37年	
佐藤 温	腫瘍内科	教授	35年	
中村 和彦	神経科精神科	教授	33年	
照井 君典	小児科	教授	31年	
皆川 正仁	呼吸器外科、心臓血管外科	教授	27年	
袴田 健一	消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科	教授	38年	
袴田 健一	小児外科	教授	38年	
石橋 恭之	整形外科	教授	36年	
松崎 康司	皮膚科	講師	28年	
橋本 安弘	泌尿器科	准教授	29年	
上野 真治	眼科	教授	25年	
松原 篤	耳鼻咽喉科頭頸部外科	教授	36年	
青木 昌彦	放射線治療科	教授	34年	
掛田 伸吾	放射線診断科	教授	27年	
横山 良仁	産科婦人科	教授	35年	
廣田 和美	麻酔科・集中治療科	教授	37年	
斉藤 敦志	脳神経外科	教授	25年	
漆館 聡志	形成外科	教授	28年	
花田 裕之	救急科	教授	38年	
津田 英一	リハビリテーション科	教授	33年	
齋藤 紀先	検査部	准教授	26年	
黒瀬 顕	病理診断科	教授	36年	
大沢 弘	総合診療部	准教授	39年	
小林 恒	歯科口腔外科	教授	35年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容 医療機器に係る安全管理</li><li>・研修の期間・実施回数 令和4年7月21日～令和4年8月31日 (eラーニング)</li><li>・研修の参加人数 60名</li></ul>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	病院長 袴田 健一
管理担当者氏名	事務部長 中野 公雄

		保管場所	管理方法		
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病歴部 医療情報部 薬剤部 放射線部	概ね電子データで管理。処方せん、持参フィルム等一部の記録は、原本を中央カルテ室で保管。 紙診療記録については、診療記録管理規程により、病院外への持ち出しを禁止している。 医療情報パソコン及びローカル保存データは、情報管理システム運用管理規程の定めにより、システム管理者の許可を得て、病院外への持ち出しができることとなっている。	
		各科診療日誌			
		処方せん			
		手術記録			
		看護記録			
		検査所見記録			
		エックス線写真			
		紹介状			
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	概ね電子データで管理	
		高度の医療の提供の実績	経営企画課		
		高度の医療技術の開発及び評価の実績			
		高度の医療の研修の実績	総務課		
	掲げる事項	規則第一条の十一第一項に	閲覧実績		ファイル形式(紙媒体)
			紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
			入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況			
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況			
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況			

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御センター	
		院内感染対策のための委員会の開催状況		
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況		
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況		
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	ファイル形式(紙媒体)
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況		
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課 薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部 放射線部	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況				
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況				

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課	ファイル形式(紙媒体)
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全推進室	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	病歴部	
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全推進室	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全推進室	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課	
		監査委員会の設置状況	総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全推進室	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全推進室	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	総合患者支援センター	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課	
		職員研修の実施状況	医療安全推進室	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全推進室	
管理者が有する権限に関する状況	総務課			
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課			
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画      ② 現状
閲覧責任者氏名	弘前大学長 福田 眞作
閲覧担当者氏名	弘前大学医学部附属病院 事務部長 中野 公雄
閲覧の求めに応じる場所	弘前大学情報公開室(弘前大学事務局棟1階)
閲覧の手続の概要  国立大学法人弘前大学情報公開取扱規程に基づき、閲覧要求に応じる。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療安全管理に関する基本的考え方</li> <li>② 医療安全管理のための組織体制</li> <li>③ 院内報告体制</li> <li>④ 安全な医療を提供するための職員研修</li> <li>⑤ 安全確保を目的とした改善のための要点</li> <li>⑥ 医療事故発生時の対応</li> <li>⑦ 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li> <li>⑧ 患者からの相談への対応に関する基本方針</li> <li>⑨ その他医療安全推進の要点</li> </ol>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有・無）</p> <p>・ 開催状況：年 12 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療事故予防・防止に関する情報収集及び対策の検討</li> <li>② 医療事故防止マニュアルの作成</li> <li>③ 医療事故予防・防止の教育、研修の企画、立案及び実施</li> <li>④ 医療事故が発生した場合における速やかな原因究明のための調査・報告及び分析</li> <li>⑤ 医療事故の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案、実施及び院内に勤務する者への周知</li> <li>⑥ 医療事故の改善のための方策の実施状況の調査、及び必要に応じた当該方策の見直し</li> <li>⑦ 医事紛争の予防・防止及びその対策</li> <li>⑧ 医療法第6条の10の規定に定められている医療事故（当該病院等に勤務する医療従事者が提供した医療に起因し、又は起因すると疑われる死亡又は死産であって、当該管理者が当該死亡又は死産を予期しなかったものとして厚生労働省令で定めるもの）が疑われる事例の検証</li> </ol>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療安全ハンドブック説明会（eラーニング） 医療安全ハンドブック説明会（DVD上映会）</li> <li>② 第2回医療安全研修会（eラーニング） 第2回医療安全研修会（DVD上映会）</li> <li>③ BLS指導者講習会</li> <li>④ 不眠症診療 Web セミナー～せん妄リスクマネジメントを踏まえて～</li> <li>⑤ 安全な輸血業務・輸血治療のポイント</li> </ol>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療事故発生時、安全管理委員会への報告</li> <li>② 医療事故の事例収集・分析により、院内での問題点を把握し、改善策の企画立案及び評価の上、情報を共有</li> <li>③ 重大な医療事故発生時の管理者への報告</li> </ol>	

(注) 前年度の実績を記入すること。



規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療関連感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>② 感染管理の組織と役割</li> <li>③ 職員に対する医療関連感染対策に関わる研修</li> <li>④ サーベイランス</li> <li>⑤ 院内感染発生時の報告体制・アウトブレイク時の対応</li> <li>⑥ 医療関連感染対策のための指針閲覧に関すること</li> <li>⑦ その他医療関連感染対策の推進に関する基本的な考え方</li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療関連感染防止対策の検討</li> <li>② 医療関連感染防止マニュアルの作成</li> <li>③ 医療関連感染防止の教育、研修の実施</li> <li>④ 院内感染発生時の周知体制</li> <li>⑤ 院内感染発生時の原因分析、改善策立案・実施、職員への周知</li> <li>⑥ 委員会で立案された改善策の実施状況の調査・見直し</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>医療関連感染対策のための基本的考え方及び具体的方策並びに医療関連感染対策に対する意識向上を目的とした内容をeラーニング形式にて実施。</p> <p>以下、令和4年度院内感染対策研修会実施状況〈全職員対象〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療安全ハンドブック説明会 「職業感染防止対策」</li> <li>② 青森県抗菌化学療法セミナー コンテンツ1：「裁判事例から学ぶ院内感染1」、 コンテンツ2：「裁判事例から学ぶ院内感染2」</li> <li>③ 感染対策研修会 「標準予防策」</li> <li>④ 青森県抗菌化学療法セミナー 「抗菌薬適正使用の原則」、</li> </ul> <p>また、上記研修会のDVD上映会（集合研修）及び個別受講を実施。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 院内感染の発生状況を把握するため、院内での感染症の発生動向の情報を共有。</li> <li>② 重大な院内感染発生時、地域の専門家等に相談が行われる体制を確保。</li> <li>③ 「新型インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等発生時における診療継続計画」に即した院内感染対策マニュアルを整備。</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療安全ハンドブック説明会（令和4年6月1日～令和5年3月31日：e-ラーニング） 「検査・手術前に中止すべき薬剤」</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有・無)</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医薬品採用・購入</li> <li>② 医薬品の管理全般</li> <li>③ 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関すること</li> <li>④ 患者に対する与薬や服薬指導に関すること</li> <li>⑤ 医薬品情報の収集・管理・提供</li> <li>⑥ 他施設との連携</li> </ol> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラパリムス錠1mg（カポジ型血管内皮腫に対する適応外使用）</li> <li>・ クリアクター40万単位（網膜下出血の硝子体手術時における血腫溶解）</li> </ul> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>① 薬剤部内ミーティングにおいて、各部門担当者より、処方せん疑義照会内容、ヒヤリハット事例、禁忌・適応外使用状況、インシデント事例、薬学的介入事例などの報告があり、全体に周知が図られている。</li> <li>② 月1回、病棟・外来常備薬の定数・使用期限チェックを実施している（向精神薬・毒薬も含む）。</li> <li>③ 調剤支援システム「PORIMS」を活用し、PTP ヒートのバーコードを読み込ませることにより薬剤の取り間違い防止対策を実施している。</li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 30 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>① 医療機器の有効性・安全性</p> <p>② 医療機器の使用方法</p> <p>③ 医療機器の保守点検</p> <p>④ 医療機器不具合発生時等の対応</p> <p>⑤ 医療機器使用に関して特に法令上遵守すべき事項</p> <p>⑥ 医療機器の新規導入時研修</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>放射線部門：①毎日の始業点検と終業点検、②定期保守点検(放射線治療機器、MRI装置、CT装置、血管撮影装置)、③消耗部品の耐久時間・過去の故障実績を鑑みたスポット点検、④故障時の修理・部品交換に合わせた点検</p> <p>臨床工学部門：年間点検計画に基づき、定期点検又始業点検、動作中点検を行い、安全点検システムMARISで一括管理をしている。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)：</p> <p>・ 頸部血管、腹部臓器血管に対するゴアバイアバーン、ゴアバイアバーンVBX、ゴアエクスクルーダーアオルタエクステンダー・イリアックエクステンダー・コントララテラルレッグ・インターナルイリアックコンポーネント(3種とも同成分構成、同効)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>① 添付文書等の管理</p> <p>② 医療機器に係る安全性情報等の収集</p> <p>③ 病院管理者への報告</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	① 有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師）          ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者が医療安全管理委員会の委員長となっている。委員会では、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者による報告が行われている</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	② 有（2名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>【収集方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品・医療機器等安全情報（PMDA よりメール）</li> <li>・医療安全情報（日本医療機能評価機構よりメール）</li> <li>・注意喚起文書（日病薬 HP）</li> <li>・医薬品安全情報（製薬メーカー、医薬品販売業者）等・緊急安全性情報発出時には、薬剤システム（湯山製作所）を用いて使用患者を特定</li> </ul> <p>【周知方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急安全性情報は即時に全診療部門、全病棟、使用医師に印刷物を配布（医療情報端末 Web にも掲載）</li> <li>・安全性速報は全診療部門、全病棟に印刷物を配布（医療情報端末 Web にも掲載）</li> <li>・薬剤部医薬品情報室から定期的に発行している Drug Information に掲載</li> </ul> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 把握             <ul style="list-style-type: none"> <li>・未承認新規医薬品医療機器を用いた医療実施申請書の確認により把握</li> <li>・各病棟担当者が当該医師に提出を依頼する「適応外使用薬剤報告書（禁忌薬剤も含む）」により把握</li> </ul> </li> <li>② リスクの検討             <ul style="list-style-type: none"> <li>・未承認新規医薬品医療機器等評価部門での検討</li> <li>・未承認新規医薬品医療機器等評価委員会への審査依頼</li> <li>・医学科倫理委員会への審査依頼（必要時）</li> <li>・薬剤部ミーティングで検討</li> </ul> </li> <li>③ 妥当性等の確認             <ul style="list-style-type: none"> <li>・未承認新規医薬品医療機器を用いた医療審査結果通知書の結果通知で確認</li> <li>・薬剤部ミーティングで確認</li> </ul> </li> <li>④ 処方した医師等に対し処方変更等の提案             <ul style="list-style-type: none"> <li>・調剤・製剤担当者による疑義照会</li> <li>・各病棟担当者からの主治医へ伝達</li> </ul> </li> <li>⑤ 医薬品安全管理責任者への報告             <ul style="list-style-type: none"> <li>・副薬剤部長および薬剤部医薬品情報担当者（DI 主任）が報告</li> </ul> </li> </ol> <p>・担当者の指名の有無 ③ 有・無</p> <p>・担当者の所属・職種：          （所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師（医薬品情報主任））          （所属：薬剤部 ， 職種 副薬剤部長）</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	①有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( ①有・無 )</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容</p> <p>インフォームド・コンセント実施責任者は、インフォームド・コンセントの構成の遵守状況を定期的に確認し、必要な指導を行うとともに、共有すべき事例を周知又は研修で取り上げるなど情報の共有を行う。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	①有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>院内規程に基づきカルテ記載状況等の点検を行い、その結果を各診療科へフィードバックするとともに院内会議にて講評する。</p>	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	①有・無
<p>・所属職員：専従（3）名、専任（0）名、兼任（1）名  うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名  うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名  うち看護師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名  （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>※所属職員は、有資格者であり、医療安全に関する必要な知識の修得のための研修等を受講しており、医療安全管理委員会の構成員となっている。</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療事故の防止及び安全管理推進に係る診療科、中央診療施設等並びに病院内各部署への指導、監督</li> <li>② 診療科等が提出する患者に係る死亡報告書に基づく、病院長への報告</li> <li>③ アクシデント、インシデント及び死亡事例についての調査、情報収集、報告の集計及び分析</li> <li>④ インフォームド・コンセントの適切な実施</li> <li>⑤ 事故、その他の医療安全推進室において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録、その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、当該事象の発生の原因の究明の実施、その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく院内に勤務する者への必要な指導</li> <li>⑥ 医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び職員の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認</li> <li>⑦ その他リスクマネジメントに関すること。</li> </ol> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。  ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 11 件）、及び許可件数（ 11 件）</p> <p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ①有・無 ）</p>	

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）

・活動の主な内容：

- ① 高難度新規医療技術実施申請の内容確認及び評価委員会実施
- ② 評価委員会の審議結果を申請診療科長等に通知し、病院長へ報告すること
- ③ 定期的及び術後に患者が死亡した場合等に、手術記録、診療録等の確認、法令及び当院要項等の遵守状況の確認をし、病院長へ報告すること
- ④ 委員会での審査資料、議事概要及び法令・要項等の遵守状況の確認の記録の保管（審査又は確認の日から少なくとも5年間）

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

### ⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（6件）、及び許可件数（6件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）

・活動の主な内容：

- ① 未承認新規医薬品等を用いた医療実施申請の内容確認及び評価委員会実施
- ② 評価委員会の審議結果を申請診療科長等に通知し、病院長へ報告すること
- ③ 定期的及び術後に患者が死亡した場合等に、手術記録、診療録等の確認、法令及び当院要項等の遵守状況の確認をし、病院長へ報告すること
- ④ 委員会での審査資料、議事概要及び法令・要項等の遵守状況の確認の記録の保管（審査又は確認の日から少なくとも5年間）

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

### ⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 266 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 72 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

- ① 医療事故予防・防止に関する情報収集及び対策の検討
- ② 医療事故防止マニュアルの作成
- ③ 医療事故予防・防止の教育、研修の企画、立案及び実施
- ④ 医療事故が発生した場合における速やかな原因究明のための調査・報告及び分析
- ⑤ 医療事故の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立

<p>案、実施及び院内に勤務する者への周知</p> <p>⑥ 医療事故の改善のための方策の実施状況の調査、及び必要に応じた当該方策の見直し</p> <p>⑦ 医事紛争の予防・防止及びその対策</p> <p>⑧ 医療法第6条の10の規定に定められている医療事故（当該病院等に勤務する医療従事者が提供した医療に起因し、又は起因すると疑われる死亡又は死産であって、当該管理者が当該死亡又は死産を予期しなかったものとして厚生労働省令で定めるもの）が疑われる事例の検証</p>
<p>⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <p>・他の特定機能病院等への立入り（<input checked="" type="radio"/>・無）（web調査：名古屋大学医学部附属病院）</p> <p>・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（<input checked="" type="radio"/>・無）（web調査：山梨大学医学部附属病院）</p> <p>・技術的助言の実施状況 高難度新規医療技術について助言があり、関係する規程等を見直し改正を行い、R5.4.1から施行している。</p>
<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <p>・体制の確保状況</p> <p>総合患者支援センター内に、患者からの相談及び苦情全般に対応する部門を設置している。</p>

<p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <p>・研修の実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和4年6月1日～令和5年3月31日 「医療安全ハンドブック説明会」（eラーニング） 令和4年8月17日、18日、19日 「医療安全ハンドブック説明会」（DVD上映会）</li> <li>令和4年6月1日～令和5年3月31日 「第2回医療安全研修会」（eラーニング） 令和4年9月7日、8日、15日、16日 「第2回医療安全研修会」（DVD上映会）</li> <li>令和4年6月24日 BLS指導者講習会 令和4年8月1日～令和5年3月31日 BLS部署別講習会</li> <li>令和4年6月24日 不眠症診療 Web セミナー～せん妄リスクマネジメントを踏まえて～</li> <li>令和4年11月28日～令和5年2月28日 安全な輸血業務・輸血治療のポイント</li> <li>令和4年7月21日～令和4年8月31日 「安全で質の高い医療を提供するために」（eラーニング） 「感染管理における医療従事者の役割-標準予防策と感染経路別予防策-」（eラーニング） 「医薬品に係る安全管理」（eラーニング） 「医療機器に係る安全管理」（eラーニング）</li> </ol>
---

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

日本医療機能評価機構主催の2022年度特定機能病院管理者研修を以下のとおり受講

管理者:令和5年2月3日

医療安全管理責任者:令和5年1月26日

医薬品安全管理責任者:令和5年2月3日

医療機器安全管理責任者:令和5年2月3日

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

令和5年2月14日～2月15日の期間で、日本品質保証機構の定期審査を受審した。

【審査結果】

「今回の定期審査では、適用規格〔ISO 9001:2015〕の中で改善指摘事項が発見されませんでした。登録されているマネジメントシステムについて、システムが維持されていると判断致します。」

との本審査結果の判定により、認証登録の承認となった。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

審査報告書(第2版)を附属病院ホームページに掲載した。(令和5年3月23日)

・評価を踏まえ講じた措置

審査報告書を院内各部署へ送付し、共有を図った。

(注) 記載時点の状況を記載すること



規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基準の主な内容           <p>国立大学法人弘前大学病院長の選考及び任期等に関する規程</p> <p>第3条 病院長の資格は、本学の教授であって、かつ、次に掲げる要件を満たす者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>医師免許を有している者</li> <li>医療安全確保のための必要な資質及び能力を有している者</li> <li>病院の管理運営に必要な資質及び能力を有している者</li> </ol> <p>2 学長は、前項に定める要件の具体的内容について、選考を開始する前までに病院長選考基準(以下「選考基準」という。)として定め、公表するものとする。</p> </li> <li>基準に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>公表の方法           <p>大学及び附属病院HPに掲載。</p> </li> </ul>
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無			
<ul style="list-style-type: none"> <li>選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>公表の方法           <p>大学及び附属病院HPに掲載。</p> </li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
若林 孝一	理事(企画担当)	○	医学部附属病院を含む本学の経営等を担当する理事として	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
廣田 和美	医学研究科長		医学教育者の代表として	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
大門 眞	医学部附属病院副 病院長		医学部附属病院において診療を担当する医師の代表として	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
井瀧 千恵子	医学部附属病院看 護部長		医学部附属病院において業務を行う医療職員の代表として	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
岡井 眞	岡井公認会計士事 務所所長		一般・患者の立場の者として	有 <input checked="" type="radio"/> 無
齋藤 久子	元青森大学 准教授		一般・患者の立場の者として	有 <input checked="" type="radio"/> 無

規則第9条の2 3 第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有)・無	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合議体の主要な審議内容 弘前大学医学部附属病院運営会議：病院の運営方針、中期計画、予算及び決算 等</li> <li>・審議の概要の従業者への周知状況 附属病院HP内の院内専用ページに掲載</li> <li>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有 (無)）</li> <li>・公表の方法 附属病院HP内の院内専用ページに掲載（外部からはアクセス不可）</li> <li>・外部有識者からの意見聴取の有無（有 (無)）</li> </ul>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
袴田 健一	○	医師	病院長
横山 良仁		医師	副病院長
石橋 恭之		医師	副病院長
花田 裕之		医師	副病院長
櫻庭 裕丈		医師	病院長補佐
掛田 伸吾		医師	病院長補佐
田坂 定智		医師	病院長補佐
斉藤 敦志		医師	病院長補佐
玉井 佳子		医師	病院長補佐
佐々木 賀広		医師	病院長補佐
新岡 丈典		薬剤師	病院長補佐
井瀧 千恵子		看護師	病院長補佐・看護部長
小林 恒		歯科医師	歯科口腔外科科長
中野 公雄		事務職員	事務部長

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- 公表の方法  
大学HPに掲載
- 規程の主な内容  
(人事等)  
国立大学法人弘前大学管理運営規則
  - ・ 病院長は、医学部附属病院を代表し、大学の方針に従い、医学部附属病院の管理運営をつかさどる。弘前大学医学部附属病院規程 他
  - ・ 副病院長、病院長補佐等執行役職員の推薦、指名、及び院内各部署等の長、院内各委員会委員の選考、指名、任命を行う。
- (契約等)  
国立大学法人弘前大学会計規則
  - ・ 予算責任者を部局の長と定める。（病院長が予算責任者。）国立大学法人弘前大学予算管理規程
  - ・ 附属病院を予算部局に定める。国立大学法人弘前大学会計機関等の事務及び職位等に関する規程
  - ・ 契約担当役（会計機関）として病院長を指定する。（附属病院を含む本町地区部局の所掌に係る契約を担当）
- 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割  
副病院長：病院長の職務を助ける  
(総務担当、経営担当、医療安全担当、その他)  
病院長補佐：指定された事項を処理する  
(教育・研修担当、研究担当、地域医療担当、看護担当、その他)
- 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
令和5年7月18日開催の厚生労働省医政局医事課主催令和5年度トップマネジメント研修に、病院長、勤務環境改善担当の病院長補佐及び事務部長等が参加した。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>① 医療安全管理責任者、医療安全推進室、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務について医学部附属病院長等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施すること。</p> <p>② 必要に応じ、学長又は医学部附属病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</p> <p>③ ①又は②に掲げる業務について、その結果を公表すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 公表の方法：附属病院HPに掲載</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
藤野 安弘	青森県立中央病院病院長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
相馬 悌	黒石市国民健康保険黒石病院 病院事業管理者		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
長谷河 亜希子	弘前大学人文社会科学部公共政策講座准教授		法律に関する識見を有する者	有・無	1
野崎 嵩	イマジン株式会社 代表取締役		医療を受ける者	有・無	2
横山 良仁	弘前大学大学院医学研究科産婦人科学講座教授 (副病院長)		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	(有)・無	1
櫻庭 裕丈	弘前大学大学院医学研究科消化器内科学講座教授 (病院長補佐)		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	(有)・無	1

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

- 国立大学法人弘前大学コンプライアンス基本規則を制定し、コンプライアンス委員会を設置。
- ・学内にコンプライアンス総括責任者（理事（総務担当））を委員長とする「コンプライアンス委員会」を組織し、定期的な委員会開催により、法令遵守状況及び違反事項等の把握を行い、法令遵守の確保に努めている。
  - ・本学におけるコンプライアンス事案発生を防止する観点から、コンプライアンスの重要性に関する認識を高め、遵守すべき法令等に関する理解の増進及び周知徹底を図る目的で「コンプライアンス研修」をeラーニング形式で実施した。また、過去に実施したコンプライアンス研修資料に加え、コンプライアンス理解度テストをホームページ上に掲載し、未受講者に対する啓発に努めている。
- ・ 専門部署の設置の有無（有・無）
  - ・ 内部規程の整備の有無（有・無）
  - ・ 内部規程の公表の有無（有・無）
  - ・ 公表の方法  
弘前大学HPに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

**開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況**

- ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況  
 病院の予算執行状況等、管理運営に関する重要事項について監督する。
  - ・ ①役員会
  - ・ ②経営協議会
  - ・ ③法人内部監査（定期）
  - ・ ④監事監査（期末監事監査（監事ヒアリング））
 ①②病院の管理運営や中期計画の進捗状況などの重要事項について審議を行う。  
 ③④調査票による病院の管理運営や中期計画の進捗状況などの重点事項の確認、及び病院院長等へのヒアリング。
- ・ 会議体の実施状況（年34回）
  - ・ ①原則 月2回（8月を除く第1、3月曜日）
  - ・ ②原則 年4回（6、11、1、3月）
  - ・ ③④ 年1回
- ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有・無）  
 （①年24回、②年9回、③④年1回）
- ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法  
 弘前大学HPに掲載

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：

- ・ ①役員会
- ・ ②経営協議会
- ・ ③法人内部監査（定期）
- ・ ④監事監査（期末監事監査（監事ヒアリング））

**会議体の委員名簿**

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
①役員会			
福田 眞作	国立大学法人弘前大学	○	有・無
若林 孝一	国立大学法人弘前大学		有・無
岡本 和久	国立大学法人弘前大学		有・無
郡 千寿子	国立大学法人弘前大学		有・無
曾我 亨	国立大学法人弘前大学		有・無
橋本 恭男	国立大学法人弘前大学		有・無
佐野 輝男	国立大学法人弘前大学		有・無

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
②経営協議会			
福田 眞作	国立大学法人弘前大学	○	有・無
若林 孝一	国立大学法人弘前大学		有・無
岡本 和久	国立大学法人弘前大学		有・無
郡 千寿子	国立大学法人弘前大学		有・無
曾我 亨	国立大学法人弘前大学		有・無

橋本 恭男	国立大学法人弘前大学		有・無
袴田 健一	国立大学法人弘前大学		有・無
安川 あけみ	国立大学法人弘前大学		有・無
今井 高志	株式会社日産サティオ弘前		有・無
岡井 眞	岡井公認会計士事務所		有・無
木村 宏	株式会社東奥日報		有・無
櫛引 利貞	カネショウ株式会社		有・無
九戸 眞樹	元弘前市教育委員会		有・無
小谷 知也	青森県副知事		有・無
須藤 慎治	株式会社みちのく銀行 株式会社プロクレアホールディングス		有・無
永澤 弘夫	弘前商工会議所		有・無
中林 弓子	中林裕雄法律事務所弁護士		有・無

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
③法人内部監査			
加藤 恵吉	人文社会学部 教授	○	有・無
戸塚 学	教育学部 教授		有・無
伊東 俊司	理工学研究科 教授		有・無
長谷川 公栄	財務部財務管理課 課長		有・無
三浦 尚子	研究推進部研究推進課 課長		有・無
工藤 慶伸	法人内部監査室 室長補佐		有・無
櫻庭 晋	法人内部監査室 専門職員		有・無

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
④監事監査			
山内 浩	国立大学法人弘前大学 監事		有・無
吉田 房子	国立大学法人弘前大学 監事		有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 通報件数 (年 0 件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 周知の方法<ul style="list-style-type: none"><li>・ 附属病院HPに掲載</li><li>・ 新採用者オリエンテーションで説明</li><li>・ 医療に係る安全管理等の研修で説明</li></ul></li></ul>